

問 江東区の障害者施策について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

<障害者調査 問57>

内容	件数
・特にない。	(34件)
・わからない。	(5件)
・感謝している。	(3件)
・グループホーム増設。	(2件)
・移動支援でプールに行きたい。	(2件)
・私はうつ病です。長男は重度知的障害、次男はADHD、自身がうつ病の中、子供2人を一人で育てています。働ける環境ではなく、ここ数年でうつも悪化したので障害年金を申請しました。8ヵ月後に年金機構からきたのは不支給通知でした。理由は“子育てができてから”絶望しました。できているのではなくやらざるを得ないのです。診断書は2級相当なのになぜ？と主治医も社労士も言っていました。私は福祉にたすけられたことなどないですし、年金に関してはこれをきっかけで病気が悪化しました。	
・(都)医療券がまだ来ない。各種更新手続をなくしてほしい。	
・(土)(日)(祝)の活動が親頼みで、親が高齢になるとなかなか外出できなくなる。ヘルパーだと個人の活動になるので放課後デイのOB会のような集団活動を江東区が支援してくれるとありがたい。ご検討よろしくお願いします。	
・「この病気・障害になったら、この支援・申し込みがオススメです」のフローが区のサイトに載っていたら使いやすそうです。	
・「家族」と言っても他人です。両親なら別ですが兄弟は違います。でも「同居」というだけで会話することもないのに支援が受けられないのはおかしいと思います。おそうじのお手伝いを頼みましたが、弟がいるからと断われました。寝たきりになっても助けるところはないのかなーと思っています。	
・「知らない事」がある(この調査で知った事もあり)事をわかったので区報もよく読み理解したいと思う。あと、今左足だけけれど右足ももう持たないのであと数年後、どうなるのか、何ができなくなるのか、という思いもあるので、今後障害者施策は気になる重大な事だと思っています。	
・「入所しないと〇〇〇の支援できない」といわれサービスが受けられない。ヘルパー事業所・ヘルパーの人数をもっと増やしてほしい。	
・バリアフリーを増やしてほしい。	
・公営住宅に入居しやすくしてほしい。・今都営に1人でいますが(姉が毎日泊る)・同じ場所、もしくは近くに引っ越せない(姉)空室はあるのに募集していない。(申込が出来ない、当選するか不安)・母と50年近く住んだ場所なので本人の引越(移動)が難しい。	
・辰巳団地にたくさんのシルバーピア建設、都営3DKに住んでいるが1DKで充	

分。多人数家族使用に。シルバーピアこそ障害者優先に。◎南部地域に障害者会館を(障害者だからこそ明るいイメージでトイレなど)(オリンピック施設路地の利用でも)◎敬老の日も良いが、60才65才定年はまだ若い。セカンドライフの日を設けて、再就職・ボランティア・介護補助、グラチャ東雲紹介等々殿方が家にいるのはもったいない。

- ・お一人暮らしの方どうしが自由に立ち寄って食事のできる居場所の提供。(来る時間、帰る時間は自由にさせてもらえる)
- ・多国籍向け配食サービス。
- ・スポーツセンターのヨガ教室に通わせて頂いていますが、補助金が出るともっと利用しやすいです。あと、ジムエリアが無料で使えると助かります。
- ・江東区とは関係ないですが、バスや電車で席を譲ってもらえないか乗客に頼んでも拒否されたりします。病気への理解が深まることを願っています。
- ・スポーツセンターのプールが無料で利用できるのは本当に助かります。本当にありがとうございます。外に出るリハビリになります。ありがとうございます。
- ・どのような施策があって自分がどのサービスを受けられるのか分からない。
- ・そもそもそれら施策を知る方法が分からない(HP? SNSとか?)。
- ・ヘルパー不足が深刻なのはこのような調査でも長年明白になり、計画でも「ヘルパー確保」が上げられているが何ら具体的な対策が講じられていない。ぜひ効果的な策を講じてほしい。
- ・避難計画についても同様。このまま大規模災害が発生すれば、多くの障害児者の犠牲が出る。差別解消法に基づき、合理的配慮のある避難計画を直ちに進めてほしい。人災になりかねない。
- ・補聴器が値段も高いので、補装具費の支給全額を、もっと増額して欲しいです。
- ・障害4級も、都営バス無料などの様に、新幹線・高速道路なども、無料にして欲しいです。等級で差をつけないで欲しいです。不自由な状態は皆変わらないと思います。
- ・以前、保健所で精神疾患について、またそれに伴って就労出来ていない、ひきこもりのような状態になっていることを相談した。医師のカウンセリング、デイケア施設の紹介をして頂き、それ自体は良かった。しかし、相談した後、どうなったかアフターフォローがなかったので、その後どうなったかまで追って欲しい。
- ・区民プールの利用料が200円→0円になったことがとても有難い。・映画の値引きが有難い・都バス無料ありがたい・医療費負担(持病の)が1割→0円になったことが有難い。とても手厚い経済支援だと思っている。
- ・なし。障害の程度による質問が少ない。
- ・障害者、1人での今後の生活。親の高年齢、成年後見制度の情報・入所施設を増してほしい。(区内)短期入所施設が少ない。

- ・信号が青の時音がなるといいのですが、少しずつでも音がなる所を増やすのは無理ですか？・ルーペや懐中電灯がないと、読んで書く事が大変なので(目に障害があるから)字もうまく書けないし(よく見えてないから)このようなアンケートはつかれます。
- ・難病患者だが、難病の指定書面はA5サイズなので手帳サイズにしてほしい。
- ・歩道が狭いと感じることがある。時間帯によっては、子供をのせた大きな自転車が勢い良く走ってくることも多く、安全にすれ違えないと感じることがある。
- ・越中島駅が、エレベーターしかなく、利用したい時にそこまで行くのが大変と感じることがある。
- ・豊洲に住んでいるが(精神障害)、近くにデイケアがなく、通うのが難しい。近くにデイケア(精神)を作してほしい
- ・洗髪を4:30~ヘルパーさんにしてもらっているため、錦糸町(今ある一番近いデイケア)まで行くと帰ってくるのに間に合わない。ヘルパーさん不足で時間を変えるのも難しい。
- ・江東区福祉手当の金額を増やしてほしい。
- ・グループホーム(特に独立型)の拡充。
- ・江東区役所障害者担当窓口の対応が良くないので、もっと親身になって話を聞いてほしい。
- ・既に働いている人の為の転職サービス会が地元にあると助かる。発達障がい者の性や恋愛に関する、不便さの理解や調査をしてほしい。
- ・2023年4月に開所の入所施設は江東区では初めてですが、このような施設がもっと出来れば、介護者や親が亡くなった後に、一人で生活できない者にとって、大変有難いことです。よろしく願います。
- ・ありがたくデイケアに行かせていただいています。
- ・いつもありがとうございます。今後、手続きがもっとシンプルになればいいなと思います。ネットからできるようになったらうれしいです。
- ・いつもありがとうございます。障害者への施策だけでなく、介護者の皆様への金銭面、心理ケア等々、先ず、そこを充実させていくことから始まると思います。どうぞ、御一考を。
- ・お金がないので支援は受けられないと思います(病院で3割払うのが大変で)。
- ・お互い行政も、本人も前向きに進んで行って良い方向に向かいたい。
- ・ガイドヘルパーを使える時間をもっと長くして欲しい。点字ブロックを増やして欲しい。
- ・グループホーム、現在は定員に空きがなく、土地や工事費用の確保が出来ても人材不足ときいています。若い学生などに江東区で働く条件等での奨学金制度などを考えていただけたらと思います。
- ・このアンケート、WEB回答ができるとあったが、書類に記載がない。HPでも案内が見つけられない。このWORD文書は回答に適していない。解答欄を追加

- する必要がある。携帯でも回答できるようにするべき(フォームなど)。
- ・この問いが私の実情と合っていない。回答がまったく答えられない。その家庭によって違うので合った質問、問いがほしい。
  - ・これからも障害者や難病の人々に寄り添った支援をお願いいたします。
  - ・コロナ流行前よりタバコ喫煙のマナーが最悪で住宅地での受動喫煙が問題にならないのが疑問。肺等の病気を自宅療養させるなら全期間24時間完全禁煙にすべき。
  - ・ストーマ装具費の支給をお願いします。所得割額での支給基準を廃止すれば支給可能と考えます。「所得が多いから支給しない」は、障害者差別です。所得が多くても、障害は無くなるからです。障害者に対する愛ある政策を希望します。
  - ・スポーツ基本法に「スポーツは障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう…」とあるけど、これは家庭でやるものなのではないでしょうか？作業所はほぼ椅子に座ったままで一日すごしています。太るのはあたりまえ。
  - ・たくさんの支援を受けています。感謝しています。
  - ・タクシー券を発行していただけることに感謝しています。とても助かっております。
  - ・たとえ所得があっても配偶者の理解がなければ病院に通院するのも大変なので障害者の所得制限を設けられると困る。理解もされないと子供がいても働けないし離婚も考えられなくて、余計にストレスがたまり精神的に良くなりません。
  - ・とても、バリアフリーや障害者の為の対策など、数年前と比べて充実していると思うが、このまま続けていけばよいと思う。区や都などはもう少し福祉行政について、予算を使ってもよいと思います。
  - ・とにかく支援金がたくさんほしい。区長の給料を減らしてでも回してほしい。
  - ・どのような施設なのか内容が無知であることが第一です。唯、一般的には弱者に対しての思いやりが不足している世の中だと思います。ハワイのバスに乗ると老人を見ると直ぐ席を立ち譲る姿を多く見かけます。最近の若い人は個性が強一概にどうこう言うことは出来ないが思いがけず席を譲られることが多くなりました。
  - ・ひとり暮らしの方に対して、緊急時、親身に相談のサポートが欲しい。
  - ・ペット不可物件が多すぎて困っている。障害者の私にとってペットは大事な家族です。
  - ・ヘルパー、介護者の確保。ヘルパー不足で利用を断られる事。
  - ・ヘルパーさんが忙しすぎて移動支援が使えない。訪問看護婦さんに助けてもらっている。飯田橋から有楽町線に乗る時にエレベーターがないのですごく困った。
  - ・ヘルパーさんの人手不足が問題かな？と思うときがあります。身体障害が見た

めで分かるけど精神障害は分かりづらいので、ヘルプマーク以外で分かりやすいマークがあれば良いなと思います。ヘルプマーク+のマークがあればうれしいです。

- ・ヘルプマークがなくても(持ってなくても)具合が悪い人には、配慮してほしいです。運転手さんも、もっと声がけしてほしい。他から江東区へ来た人なのか、昔より譲り合い、助け合いがなくなった気がします。シルバーシートには、元気な学生が座っていたら、立たせる様にするとか！つえを持った人とかを前にしても今の子は、無視するので。学校と親への教育を一から学ばせるべき！。
- ・まず、どの様なサービスがあるのかを知らないので知りたい。
- ・マスクができない事でお店、病院を断られている。本当は障害があるから面倒だから拒否されているのかもしれない。差別は日常にある。心のバリアフリーとなってほしい。
- ・まだまだ大きな隔たりがあるので、少しでも障害に対しての理解を上げて頂いて、もっと住みやすい環境作りしてほしい。
- ・もう少しこの書く欄を大きくしてほしい。区役所に一人で行った時案内が不親切。
- ・もう少し短いアンケートをしてほしいです。集中力が続きません。申し訳ありません。
- ・もう少し施設を増やし希望した者に入居できるようにしてほしい。
- ・もっと積極的に利用できる、サービスの情報を提供してほしい。
- ・もっと認知させないと何も変わらない。PR活動や、理解していない住民に対して、指導及び取り締まりなど行わないと、人は、自分の事しか考えないから共存していけない。路上喫煙や歩行喫煙が、なくなるのも問題有。
- ・リハビリ活動の充実。質の問題。
- ・ワンストップで相談できる窓口がほしい。たらい回しになる事が多いので。
- ・以前より重度の障害者の入所施設が地域には無くこの度区で出来る施設も重度の障害者の入所は非常に少ない。
- ・以前住んでいた市区町村に比べて、寛容に対応していただけることに大変感謝しています。補装具の支給を受けており、ないと外出できないのですが、頻繁に壊してしまいます。毎回きちんと直していただけて、またご処理も早く助かっています。区役所の窓口の方も毎回丁寧に分かりやすくご説明して下さります。いつもありがとうございます。
- ・医療機関について、種類を問わず充実させてほしい。
- ・医療費の助成の拡充。
- ・運動が出来るよう、体操など。
- ・雨の日の病院通いはとても悩むところです。車いすというだけでタクシーがスルーしてしまう場合があります。とても申し訳なく思っているのですがどうか車いすの私を快く乗せて下さい。タクシー会社への啓発をお願いします。

- ・家族が日中は働いているので誰もいなく毎日ひとりです。何かあった時不安です。今は何とか歩いているけど家族がいるからと支援が受けづらい所があると思います。
- ・家賃補助や経済的支援が手薄なので充実させて欲しい。障害者雇用が低賃金なため。
- ・介護タクシーを良く利用しています。予約なしでも緊急時にすぐ対応できるようにして欲しいです。大きな車椅子で一般タクシーに積むのは不可能なので、即病院へ連れて行きたい時にとっても困ってしまうことが何度かありました。よろしくをお願いします。
- ・外見から見て障害を持っているか分からないのが辛い。障害者に対し言う言葉、きつい言葉を言われ体調を崩し働けなくなったことが一番悔しかった。今でも忘れられない。障害者でも結婚ができて子育てがしたい。
- ・休みの日(土・日)にただ家に居るだけでは不安になるので、土日休日に利用を出来るようにお願いします。障害者年金が年々目減りしております。増やせないのでしょうか？
- ・金銭的に苦しく家から出たくても出られない人の為の住居や家賃補助等あれば助かる。
- ・区日より、ではなく、単独で障害者に利益のある情報は、ハガキや封書で送ってほしい。区よりは正直読まない。
- ・区報などで、ボランティア、付き添(外出援助)などの利用方法などの情報提供。
- ・区役所にはメール対応十分にしてもらいたいと思います。
- ・区役所の窓口が混んでいてゆっくり話を聞いてもらえないし、担当者がせっかく仲良くなっても、次々に変わるので残念で、いやな人も、いるよね。
- ・区役所の福祉課の人が2人いて、一人は親切けどもう一人が最低。態度と口が悪く福祉の人間とは思えない。
- ・軽い運動の為にスポーツセンターに行くのに区タクシー券や都バス無料を使い便利の為続けてもらいたい。
- ・健康であれば出来るだけ利用させて頂きたいです。友達がいないので、施設に行けば友達と会話ができ、喜びがある。
- ・元住んでいた地域では、福祉手当を頂いていたので、江東区でも頂けると助かります。
- ・現在、重症筋無力症で援助していただいています。大変助かっています。有難くオムツ等利用させていただいておりありがたく思っています。
- ・交通事情をスムーズに行くようにしてほしい。
- ・現在仕事のことは考えず、命を最優先で休養している。前の職場とトラブルがあり、相手の対応があまりにひどく、仕事や社会に信じられるものがなくなった。江東区が生活支援の拡大と、働きたいと思えたときに働く場があることの

- 情報発信をしてくれることを望んでいる。江東区版ベーシックインカムを導入。
- ・現在就労支援所に通い、こういう場があって良かったと大変感謝しているが、我家の収入、仕事をしてない私には、利用料が少し高額。
  - ・現状で満足していますが、都内でトップレベルと思われるような、サービスが充実して頂けたらと思います。
  - ・公営住宅に入れてくれ、年金を上げてくれ、インフレに追いついていない。
  - ・公園のトイレにもなるべく洋式にし、ウォシュレットを設置してほしい。
  - ・公的住宅を確保、拡充してほしい。
  - ・江東区だけではないのかもですが、老人に対する通所や入所施設etcはとても多いが、知的etc障害者の方を受け入れる通所、入所施設や、ヘルパー(自立支援)がとくに少ない。老人より困っている方が沢山いる。何とかして欲しい。
  - ・江東区ではすべてのテーマパークに当日割引で入れるようなパスポート(江東区障害者テーマパークパスポート)を出してほしい事です。障害者用のホーム(Wi-Fi+TV全局見られる物、ワンセグある物、インターネット、Wi-Fiが使える所をすぐに出してほしい事です)。
  - ・江東区には卒後余暇時間を過ごせる場が全くない。コミュニケーションが難しい重度の障がい者が、平日の日中以外の時間を楽しく過ごせる場所をぜひ作ってほしい。母子家庭フルタイム(非常勤)で働く母にとって、週末(2日間)とも自分だけの時間を取れないのは辛い。障がい者向けのグループホームも足りなすぎる。
  - ・江東区のグループホームは少ないと思います。江東区に就労で来たが又たまたまリバーハウスに入居出来たが3年だけでその後は家に帰るか他の施設に入るか考えなければならない。江戸川区にグループホームは多いそうだが通勤出来るか心配。仕事をやめなければならないか心配です。
  - ・江東区の区報は必ず読んでいます。非常に助かります。
  - ・江東区の障害サービスは、満足しています。
  - ・江東区の障害者施策について理解が出来ていない残念です。
  - ・江東区はグループホームが少なくて増やして下さい。江戸川区は多いようですので…。出来るだけ江東区に住んでいたいので、お願いします。
  - ・江東区は他と比べても障害者施策は充実していると思う。上をみてもきりが無いが、この程度以下には下げないでほしい。
  - ・江東区以外の障害者向けスポーツや趣味のクラスの情報が見たい。23区全部を網羅する情報の形に東京都全体で取り組んで欲しい。
  - ・今こういう施策を行っています、と知らせる。
  - ・江東区は福祉に関する施設等どんどんと民間委託しているが直営でなければ出来ない事がいっぱいある。民間は採算が合わなければならないのでサービスの低下がある。塩浜福祉園が最たる見本。福祉施設等、民間にするつもりはないという区があるがうらやましい限りである。塩浜福祉園を直営に戻してほ

しい。

- ・江東区地域生活センターに関しては来所した障害者をほったらかしにするのではなく、セミナーや健康のためのイベントを増やした方がいいと思います。また、就職支援の相談に行きましたが、まともにとりあってもらえませんでした。
- ・江東区独立の住民税減税とか、割引商品券で物価高・低賃金を助けてほしい。公的命の相談に電話しても月並みな対応、タライ回しになり、かえって自分は面倒な存在なのだと感じる。
- ・江東区内に通過型ではなく、重度の知的障がい者でも利用できるグループホームを作ってほしい。重度の場合、区外か施設入所をすすめられるがグループホームでの生活を望んでいる。でも受け入れてくれるグループホームがない(期間が決められていない所)※現在は通過型のグループホーム利用。
- ・江東区福祉課は、本当によくして下さったと思います。交通事故でしたので、3年前からの利用ですが、感謝しております。窓口の方は、詳しく知らなくても、担当の方が丁寧でした。※このようなアンケートは、本人は記入できませんが…。
- ・高齢者・高齢の障害者の中には、便利なツールやサービスがあっても利用せず、不満ばかり言っている人がいる。周囲が良かれと思っても本人が努力する気持ちがないと、宝のもちぐされに感じる事がままある(自分が所属しているサークル内で感じている事)。
- ・高齢者在宅サービスセンターを利用しています。用具が古い、リハビリの人数が少なく頭の体操とか考えてほしい。
- ・国・都の施策だけでなく独自に施策をつくってほしい。老人・子どもの施策は話が上がるが、障がい者にはあまり無く、声なき声が多くあるので、区が一步先を行く施策をとる事が重要と思います。
- ・今、支援が必要な方に支援が届けば良いと思いますが、軽度の障害で就労している障害者にも、保育園の入園ポイントを加点して頂きたい。
- ・今現在は親子で不自由を感じず生活してあまり色々な施設等を利用した事がないがこれからいろいろと考えていかなければという処です。区の施策等にも目を向け利用していきたいと思います。
- ・今現在より安い家賃で子どもと一緒に入居でき買物が安心してできるところ。
- ・最新版福祉の手引で知識を得ようと思います。福祉について深く考えていなかった事を今回のアンケート記入で感じました。
- ・仕事は出来るような子供ではありませんので、これ以上記入する事はありません。
- ・今年4月他区から転入しました。以前住んでいた区では難病の受給者証と助成金の手続きが同じ場所だったのですが、受給者証の住所変更に行った際に助成金の案内がなかったため、以前の区から引き継がれるのかと思ってしまい、支給日に入金されず、問い合わせをして判明しました。案内が不十分で残念だ



と感じました。

- ・仕事をしても収入は普通の人よりは低く経済的な支援を望みます。年金を受け取れるようになっても金額は少額でどこまで生きていけるか不安がいっぱいです。
- ・仕事をする時に、障害者(精神障害)があるため、精神病を受け入れてくれる職場をハローワークや役所と一緒に探し、何度も落ちた。今は、障害を隠して仕事をしている。職場に話せず、理解を得られずとてもつらい。どうにか理解のある職場を増やしてほしい。
- ・子どもが20歳を過ぎた際に年金の手続きはしましたが、医療費やタクシー券、手当等の案内がなく、1年過ぎた時点で作業所から言われて初めて申請できることを知りました。区役所で20才になった障害者に関する情報はまとめていただければと思いました。年金手続きで区役所に行ったにもかかわらず、1年間手当を受給することができませんでした。家族以外に支援を頼める人がいません。移動支援等の福祉サービスは従来から利用している方々で手一杯と言われ、5年前に転居してきた我が家の場合、全くヘルパーさんをお願いすることができません。受給者証を持っていても利用できる場所がありません。
- ・支援していただけてとてもありがたく思っています。私が障害者1級ですが主人83才難病認定と叔母101才要介護1を看ています。これからどうなるんだろうと不安です。障害者の私より、主人、叔母(認知症)の方が心配です。私がいなかったら一家全滅です。
- ・施設使用法が面倒くさい。
- ・私、普段、障害者であることを伏せて暮らしていますが、ちょっとしたきっかけで、それが分かってしまった時、差別されないような環境にしてほしい。ちなみに私、ある団体に所属していますが障害者であることが、その団体に分かってしまった時、別に差別は受けてません。
- ・私は仕事したいですとっても楽しみです。
- ・私は先天性の感音性の難聴です。両耳に補聴器を使っていますが新しい補聴器にする時に片方だけの補助になるとの事納得がいきません。
- ・私自身、難病を2つかかえています。頑張っています。障害者手帳の交付と、低額の住居提供が希望です。定年が近く将来が不安です。派遣で働いていますが仕事と給与が見合っていないです。
- ・自分に自信がないからわからない。
- ・似たような症状同士の情報交換できる場。ただ相談を聞くことしか出来ない人に相談する気にはなれない。実際に経験した人と相談や情報交換がしたい。
- ・持病の関係で重い物を持つことが困難なため、飲料・食料など買い物に不便です。今は家族に買い物や料理をお願いしているが、将来的には、ヘルパーさんの力も借りたいです。身体障害者の方だけでなく、精神障害者の方も使えるようなヘルパーのサービスがあると助かります。

- ・耳がきこえず手話通訳を必要としているのに、手話通訳の派遣を断られたことがある。(手話通訳がなくても何とかなるだろうと判断された)非常に不愉快で、これは差別にあたると思う。実際、江東区は手話通訳の派遣に関してはとても扱いが悪くひどい街だと言われている。改善をお願いしたい(他の街では手話通訳を100%派遣してくれるところが多い)。
- ・自分から進んで行動できる人にとっては、とても良い区だと思います。しかし、先天の障害と後天の人とでは(性格も含め)かかわり方が大きく変わってくると思う。私も何かしたい…と思っても「イヤな思いをするから」やめておこう…となってしまう。
- ・自分が出来る仕事が増えるよう強く望みます。
- ・自分のことは自分で出来る本人ですので障害者と云われる程でない…。ありがとうございます。と共にお礼を申し上げます。主人、子供と孫と各々生活していて介護者にもなっていませんので…。第一に私か主人かと思っています。
- ・自立できてしまっているが、対人関係や就職後に不安をかかえたり、数年後などに立場や環境などが変わることによる不安などもあるので、そういう障害者でも定着支援が受けやすい制度がほしいです。あるのでしたら、もう少し情報が得やすくなると嬉しいです。
- ・失語症者が家族だけではなく、公的な支援者(失語症者向け意思疎通支援者)に気軽に頼めて1日でも長く江東区で暮らしたい。
- ・社会福祉協議会？が障害者に向けて年末に実施しているたすけあい品？の配布にあたって2020年は配布を受けたが、2021年は配布を受けられなかった。区報に小さくのっていたのを見逃したようだが対象者には毎年通知してほしい。
- ・車イスを利用しているもんで、歩道にあがる時の段差をもう少し下げしてほしい。場合によっては車イスから落ちる事がある。
- ・車イス外出の時道路のバリアフリーをお願いしたい。
- ・車椅子の利用者ですが、道路に段差がありとても利用しにくいです。たとえ5mmでも動かさないことを知って欲しいです。介護サービスも点数の制限で使えるサービスと福祉用具が限られるため経済的な負担が大きいです。
- ・手をつなぐ親の会の要望や声は、切羽詰まる親の声。どうか、耳を傾けてほしいです。聞いては頂いているとも実感はしてます。
- ・手帳は受けとったが、どんなサービスがあるなどの説明がないため日常生活が改善できるようなサポートは何も受けていない。ただ認定されただけで何も変わらないです。仕事ができない、みつからない人への支援しかないのでしょうか。同じような人の話をきいてみたいと思ったのですが。
- ・手話講習会は、無料にしないでほしい。→ボランティア感が強い。そのため、通訳技量が育たない。手話講師は、NPO手話教師センターから派遣してほしい。

江東区手話サークルや聴覚障害者協会は、『福祉』と根づいているため、手話に対する言語力や文化の理解が足りないと思う。

- ・手話代理サービスのようなテレビ電話で相談できるシステムを設置して欲しい。FAXだと書いたり、送信したり、返事を待ったりするのに時間を要する(FAXはもう家にはないです)。
- ・手話通訳者を必ずつけてほしい。行事イベントに聞こえない人が来ていない。出やすい雰囲気を作ってほしい。
- ・就職先がない、作業所の工賃は安くとても年金なしでは暮せない。結局自営で体を酷使することになり健康を害するので、就労環境を整えてもらいたい。お金で解決する問題は多々あるので、年金以外にも支援給付が必要ではないだろうかと思います。副業できる人も多くはないので、いつ動くんですか。
- ・就労移行に通っている際の費用を負担して頂きありがとうございました。今後働き続ける中で少しずつお返しできればと思っています。また、ワンルーム型の精神障害者の入れるグループホームが多くなるとうれしいです。
- ・就労移行支援事業所(特に軽度の精神障害の方向け)の数が少ないのと城東地区に集中しており、深川南部、臨海地区にはそもそも福祉サービスの施設がない。
- ・住みよい地域にしてほしい。
- ・住宅支援、経済的支援が拡充されてほしい、働ける場が欲しい。
- ・将来的な運動機能低下を前もって防ぐために、医師の診断がなくてもリハビリを受けられるようにしてほしい。
- ・障害、健常に関わらず、最近はあらゆる差異を優劣や高低で判断し、差別意識が強い人が増えていると感じます。いずれまた優生思想がはびこる気がしており不安です。
- ・障害があってもこの子らしく豊かな人生を送れるよう、家庭では生活習慣や社会性を身に着けるべく努力してきましたが、限界があることを思い知りました。親亡き後も人権が尊重され、幸せな一生を送れるよう後押しして頂きたいお願い申し上げます。
- ・障害がない人の偏見により孤独を感じる事、障害がある事だけでも大変なのに…と思う。私の事ではなく、特にこれから長い人生がある、若い方たちへの理解が大切と思います。何か出来たらといつも思いますが、どの様にしたらいいかわかりません。
- ・障害といっても色々でランクも色々、私の場合身体内部は非常に悪いが外からはわからない。1~5まで一緒にされても参加したいとは思わない。車イスでもないし…歩くこともできるし、障害と思われたくない。
- ・障害に関係なく、一緒にできるイベントがあったらいいなと思います。
- ・障害の軽いお子さんがいる人は考えてしまいます！！いろんな障害の方が気軽に相談したりできると良いのですが？社会に働いている障害の人でも毎月

の給与とボーナスが普通の人と同じくらいもらえたらいいのにと考えてしまいます。障害年金では少なく普通の方と同じくらいに給与とボーナスをもらう事はできないでしょうか？政府で考えてほしいです。障害者の人も結婚したいですし親もいつまでもいませんから！！考えてしまいます。いろいろと？障害者というだけで給与とボーナスが安くなるのは困ります。私のような親はたくさんいます。国と政府で考えて下さい！！せめて給与毎月20万はほしいと子供は話していました。ボーナスも30万ぐらいはほしいと話していました。

- ・障害の手帳のある者の親に、同居でなくても、代わりに手続き出来るようにお願いしたい。何か手続きがあると大変困ります。
- ・障害の程度(現在の状況)について2つの部署がヒアリングに来られるのは対応が大変です。1つにまとめて欲しい。
- ・障害の等級が同じでも、年金などの手当がしてもらえるか、もらえないかの基準がはっきりしてなくて、不平等に感じる。
- ・障害者が気軽に相談できる窓口がほしい。
- ・障害者が幸せに、暮らしていける区にしてほしい。2千円でもいいから、お小遣いをもらいたい。
- ・障害者に対する支援が少ない。入院中は受けられないサービス等がある。長期入院中の場合、入院による医療費等や住宅ローン等上乗せしてかかる費用があるのに、対応されていない。働けず、収入が得られず、出費が多いのに助成の制度がない。子育てしながら、介護が必要な場合のサービスが少ない。
- ・障害者の社会参加の場、働く場を増やしてほしい。また、それらの情報を分かりやすく提供してほしい。障害者への偏見、差別がなくなるように一般の人へはたらきかけてほしい。
- ・障害者の生活が施設に通うだけや、働くことを前提にアンケートをつくらないでほしい。障害者の社会参加はいろいろあるし、食事の支度や掃除など、家事全般で1日をすごしている障害者もいます。
- ・障害者の相談窓口に登録しているが何の連絡もないので定期的な連絡がほしい。
- ・障害年金受給者への金銭支援。
- ・障害者年金の額を上げてほしい。
- ・障害者一人一人に対して、性格などを理解し、共に生きていこうと思う気持ちが必要だと思います。可哀相と言う気持ちや言葉が、苦痛に感じる人もいるのでは(もちろんそんな気持ちで、かかわっている関係者の方はいないと思いますが)。
- ・障害者施策自体理解していない。「この体は一生涯治らない、良くなる事はなく、悪くならない為の防止で治療しているとの事」経済的にも大変、医療費と薬代が大変である。3つの治療している為。
- ・障害者は、体調的な理由から家にこもりがちな場合もあり、孤立しやすいです。

孤立は精神面での不調の原因になり、QOLをさらに低下させます。障害の有無や年齢に関係なく、区民がいつでも過ごせるようなコミュニティスペースがあったら嬉しいです。たとえば、神奈川県大和市の「文化創造拠点シリウス」は、読書や仕事をするのにとっても過ごしやすい場所だと感じます。

- ・障害者手帳の手続きにつき、区役所迄行く事が大変です。出張所で、手続きが出来ると助かりますが、出来ないのでしょうか。その時、マイナンバーカードを使用出来れば良いと思います。
- ・障害者手帳の発行に時間がかかりすぎると思います。(2ヶ月くらいかかっていますので)早目になる様よろしくお願いします。
- ・障害者等級3級だと、厚生年金に入っていたら経済的支援は受けられるが、国民年金だけだと受けられない。障害のある弟がいるけど、知的障害4度(月7000円はもらっていますが)身体障害3度あり、厚生年金には働いている時入れなかったの、現在国からの支給がありません。非常に厳しいです。3級でも国民年金で障害年金がもらえるようにしてほしい。軽い障害の人にも手厚く支援金が頂ければありがたいです。
- ・障害者等級の適用(降級)に疑問。・心臓機能障害(ペースメーカー)で当初1級だったのですが最初の再認定審査で3級となってしまいました。ペースメーカー装着で障害度が何も変わっていないのに降級とは、おかしなことだと思います。また、これに伴い、自動車燃料助成が打ち切りとなりました。必要とする障害者を見放すものであり、折角の福祉施策も短期のものだと落胆しました。これは、私だけでしょうか？予算の問題等もあるのでしょうか、助成費用を低減してでも長く面倒をみるといった観点での施策を展開してほしいと思います。色々な福祉施策の間口を広げることばかりでなく、既存施策の質の向上を図るような検討による実現を望みます。
- ・城東保健所(生活教室)毎週楽しみです。
- ・色々な施設があると思うが、周りに全然、伝わっていない。色々な人にも、理解されやすいのを作って欲しい。
- ・情報を得るのが難しいと思います。こんなサービスがある等一覧のようにみやすいwebページやリーフレットの充実等、国、都、区の施策がわかりやすいものがあるとよいと思います。あと、障害者は、こういう障害をもっています。というのは開示した方が、周りも安心するかと思います。健常者の方はただ「どんな人なのだろう」「聞いてはいけない」と思う事が多く、深く聞いてこないで、耳が聞こえにくいです。というのが一発でわかるカードとかあるとよいなあとと思います(あるかもしれませんが、私はみた事ありません)。
- ・心身障害者福祉手当受給者現況届書の提出について区から都に直接データの請求ができないのか。
- ・親・子共に手帳持ち。高等部卒業し、放課後等デイサービスも卒業。作業施設からの帰宅が早くなり放課後等デイがあっても自宅での介護する負担が増し親も

力強いままではない。トワイライトサービスが是非江東区にあってほしい。(疲弊している)移動支援であるが空きがなかったり行きたい場所へ行って帰宅、作業施設の後の数人グループでの活動で楽しませてあげたい。個ではなく仲間との関わりをもたせたい。私ではないが子供の移動手段(父親はペーパードライバー、母親は免許はなく(←精神障がい手帳持ちのため免許は取得できない)車はなし)福祉TAXIを利用しているが区内には車椅子乗車できるTAXI会社、が1社のみ予約は1か月前少しでも予約が遅れると予約が取れず、仕方なく普通のTAXIで車椅子から下ろして後部座席もしくはスロープを用意(時間がかかる)できる雨の日は大変な思いでの外出、都バスもあるがバス停まで10分、他のTAXI会社、そのまま車椅子でスムーズに乗車可能な会社があれば(行く場所によりバス乗り換えもある)江東区は特に橋が多いので上り下りでフラフラです。江東区にしかない障がい者が作業施設後にすごせる場所、ステキな施設を作ってください。

- ・親が亡くなった後の事が不安ですのでグループホームや入所施設の充実をお願いしたい。
- ・親が亡くなった後も、不安なく生活できるよう支援してほしい。障害特性に応じた環境が整えられるよう、作業所の予算を増やしてほしい。
- ・親なき後の生活が心配。施設ができると安心、軽度の障害、中度の障害。
- ・親子が共に入居出来る老人ホームが出来ると良い。介護保険に加入しても、障害者は、早く年をとるので、利用出来る年齢が60才からというのはおかしい。障害者は、40才から利用出来るようにしてほしい。
- ・親亡き後は施設を希望するが、グループホームの様な寮母さんが常駐する所、入所施設の様な外部との隔たりのないことを望む。
- ・身近に気軽に日常生活の相談が出来る人がほしいです。
- ・親亡き後住み慣れた区内で生活できるような入居施設ができるといいと思います。肢知精難などそれぞれできることをお願いします。
- ・数年毎のこのアンケートの結果をまとめて、江東区として「ここを変えた」「ここを良くした」と知らせるしくみにしてほしいです。
- ・精神障害3級がかなり低めな認知。障害者としての配慮がない。
- ・精神障害は、世の中にあまり知られていない気がします。企業でも、知的障害や身体障害の配慮はあっても精神障害者への配慮が無かったです。安心して暮らせる様に、社会で精神障害者とはどんなもので、どういう事に困るか、疲れやすさなど、広めていって頂きたいです。
- ・精神的障害があるが理解してくれる人がいない。特に家族の理解がなく、一人で暮らしている。自分の人生が無意味な物に思われてどんどん追いつめられているが、医師も忙しく相談したり話を聞いてくれる所がなく、とても悩んでいる。
- ・昔、江東区であった「あけぼの金」を復活してもらいたい。江東区民は約500,

000人で統合失調症の人が約1%を占めると考える。江東区民の統合失調症患者は単純に5,000人いる訳だから区民にもう少しネットワークがあった方がいい。

- ・昔は障害者手帳を見せれば割引になる店があったが今は無いので残念です。
- ・相談する所がわからないし、持ち家がある、と言うこと、週に2～3回のパートに出ている事で、サービスを受けられるのかわからない。自分的には1人親で障害を持ちながら子育て、将来の不安、日々の暮らしで、体力がなく出来ない事ばかりだが、どうサービスが受けられるのか、誰に相談したら良いかわからない。
- ・相談できる機関が自宅から遠くアクセスも不便。
- ・相談窓口で相談後、すばやく対応を行ってくれると幸いです(まだ特に相談を行ったことはありませんが…)。
- ・足が悪いのでバス停にベンチがないのが1番つらい。
- ・大きな交差点には音響信号をつけてください(森下交差点など)。
- ・大学3年生の時に就労移行支援事業所を利用したいと思ったが、「卒論を提出して受理されなければ利用できない」と言われた。他地域に住んでいる人は、大学3・4年生でも利用していたのに、市区町村それぞれ対応が違うという事実にはショックを受け、不平等だと思った。また、大学在学中に福祉サービスの情報を知りたかった。大学に向けて障害者福祉サービスの情報提供をしてほしい。
- ・大通りの点字ブロックを充実させてほしい。
- ・大変良くして頂いていますが、更新時の書類の量と内容が複雑で毎度一回では終わらない。もう少し簡単にして一度で終わる方法があれば有り難いです。
- ・沢山の施策が用意されていると思います。これら施策の運用、使い安さ、ネットワーク等サービスを有機的に使いやすい環境づくりが重要ではないでしょうか。
- ・都営地下鉄のバリアフリー化を。特に新宿線は階段が多すぎる。
- ・知的障害のある子供を抱えて高齢の親の介護、病状の急変時に、緊急一時保護やヘルパー利用で迅速で柔軟な対応をしてもらい、夜間・早朝や泊まりでの老親の急な付添いができて助けられた。困っていたので本当に感謝。緊急一時保護は必要な欠かせないサービス。もっと充実させてもらいたい。
- ・中央区にあるようなバスがあると動きやすい。都バス21番がなくなったので、都バス22番の本数を増やして欲しい。東西線駅の階段が大変なので、バスを利用するが、東京駅方面のバスが減って不便である。せめて1時間に5本ぐらいあると便利だと思う。
- ・聴覚障害者だけのグループホームを作って欲しい。(配偶者がいなくなった場合等、そのような場所があると健常者よりコミュニケーションを取りやすく、楽しく過ごせると思う)。

- ・通所しているが土日祝日、やることなく暇なことが多い。障害者(知的)が、参加できる教室(音楽・スポーツなど)が、あるとうれしい。
- ・潰瘍性大腸炎と診断され、まもなく20年が経過いたします。今現在は体調が安定しているため、定期的な通院と薬で維持しております。このような状態のため、江東区からの支援を断られました。とはいえ、通院のたびに診察代やお薬代がかかり、これがかなり負担である。どのような基準で支援を受け、又切られるのか分かりませんが、以前のように「潰瘍性大腸炎」と診断されている以上、支援を受けられることを強く希望いたします。
- ・点字ブロックについて、歩行者が気を使って自転車を避けてくれるのですが点字ブロック側を自転車が走行する事になった時に縦線幅にそって自転車が走行する形になる。“縦線と縦線の間”自転車のタイヤ”自転車の乗車中、走行中、縦線の点字ブロックがビニール製だと自転車のタイヤもビニールで出来ているので、タイヤと点字ブロックもビニールのため自転車が転倒する経験を今まで複数回しているので、点字ブロックのビニール製は、やめてほしい。ブロックのようなセメント系の点字ブロックにしてほしい。
- ・都営住宅に申し込んでいるがもう5年入れないでいる。都営住宅に早く入りたい。
- ・東京都に言うべきことかもしれないけど、ヘルプマークの持病シールみたいなのはすぐ取れたり、見られなくなるからどういう理由で所持しているかわからないという目で見られることも少なくない。(特に高齢者)逆に譲った方が良いのかも知れないが。
- ・等級や障害の程度で利用したくても対象者が限られる場合が多く、一時的に支援を利用したくてもあきらめるか民間のサービスを有料でたのむことになってしまう。状況に応じてサービスを受けられるようになると助かると思う。
- ・働くために必要な資格取得の相談窓口があれば、すでにあるとしたらわかりやすく気軽に相談できるようにしてもらえれば。
- ・働いて再発してしまう人は働けない。現在精神3級でお金の援助がなく生きていく中で不安。働いて再発してしまう人には2級以上にすることをしてほしい。どんな仕事にしても最低賃金もらえるようにしてほしい。
- ・働き続けてきたために高齢になっても障害年金が支給されず、課税はされ、これからの老後は何をするにもお金がかかる身分(障害2とる)は差がありすぎると思います。何のために働き続けて税金を納めて来たのだと思います。・電車やバスの優先席は若者、ファミリー席の様子、バス路線が廃止され、区内の公共施設どこに行くにも乗りかえなければ行けなくなりました。ぜひコミュニティバスを走らせてほしい。車や電車に乗れない人、長い距離を歩けない人もいます。
- ・頭下げさせるのが目的で意図してとにかくあいさつをしないだけで近所から仲間はずれされている。ほったらかしにされている。何の情報も入ってこない



し、何も教えてもらえない。もちろん相談にのってもらったことなど皆無。その上道路掃除などはただでこきつかわれて評価してもらえないで25年になる。近所がひどいおかし。困っていても主人以外誰も助けてくれない。

- ・特にありません。精神障害者自立支援制度など、大変助かっています。
- ・特殊な病気なので介護認定医調査員に障害の内容をもっと勉強して欲しい。
- ・内部障害の就職は、かなり厳しいと感じる。自分自身も何度か面接に行ったが、全てダメであった。内部の疾患は、なかなか就職は難しいのかなと感じている。この点を考えてほしい。
- ・南砂町に就労移行支援施設、就労定着支援を造ってほしい。江戸川区と比べて、弱者(障害者)に冷たいと思う。例:ひきこもり対策など。
- ・難病の医療費助成や難病手当の給付があるので、治療が継続できていると思います。薬代や内視鏡検査代など、治療費が高額だからです。難病認定も、毎年申請が通るかとても不安です。今後とも治療にかかる助成や給付金をよろしくお願いします。
- ・難病の申請をする時に手間がかかる。もう少し簡単に出来るようになったら嬉しい。
- ・難病の薬でもジェネリックを勧めていますが、安価でも何も変わらないとは限らないのでただジェネリックを勧めるのはどうかと思います。飲み合わせ等もあるので、本人にある程度任せてほしい。もちろん医師と相談の上で高価だからいいと思っている理由ではありません。
- ・難病は手帳のようなものが無いので、就労支援など利用がしにくい。就職活動をしていても体調を崩したら…と思うとなかなか思うように進まない。気軽に相談できる場所、難病でも働ける仕事をしたい。
- ・難病への補助金支援は大変助かっています。年間の薬代、通院代、検査代の不安がなくなります。ありがとうございます。
- ・難病手帳に関しての質問に対する回答が丁寧で分かりやすい。手続きの説明も分かりやすく丁寧で大変助かりました。コロナワクチンの対応も早く、本当に有難かった。(常に免疫を抑える薬を服用しているため、非常に不安だった)。
- ・難病認定の更新手続をもう少し楽にできるようにして下さい。昨年提出した調査票に、医師の記載に不備があり、確認のため追加の書類の提出が必要と言われました。ひとり暮らしで、コロナも一番ひどい時期でしたが、その中でまたわざわざ病院に行って追加書類をもらってきました。このような場合もわざわざ持病をかかえている当事者がやらないといけないとか、体調が悪かったらできなかつたと思います。改善してほしいです。
- ・日常装具の支援(ストーマ)に所得制限を設けないでほしい。ストーマは絶対に必要な物であり毎月の支出が辛い。
- ・年金200万弱、30年前に建てた戸建にひとりで住んでいます。10年前定年直後に受けた大動脈解離手術により就労困難です。一昨年ペースメーカー、昨年

大動脈弁手術で一級障害認定されました。生活するだけなら足りていますが、家の設備機器の更新老朽取り替えには資金がありません。年10万円ほどの支援があればと思います。

- ・年金課で障害者年金について聞いたら、「今貰っている年金が少ないから増やしてほしいなんて、そんな便利な制度ではない。」と怒鳴られた。長寿サポートセンターでは「ケアマネージャーを通してよ。」と馬鹿にするように追返された。江東区の公務員は冷たいと思う。信用できない。
- ・年金事務所に3回ほど行ったが、1級をもらえない。今は13万弱(2か月)です。
- ・発達障害3級だと、健常者と同じように生活している。PTAや父母会など、「親同士」しかいない団体が一番困っている。参加しない選択肢がほしい。
- ・避難所に指定されている学校の入口の段差が5cm以上あり、電動車イスで1人で入る事が出来ない。
- ・補聴器に関して、原則耳かけ式となっているが、眼鏡、マスクをすると耳かけは不便。又、耳かけの補聴器本体が汗に弱く、購入2カ月後、汗で故障した。耳穴式の方が汗にまみれにくいので、こちらを原則としてほしい。特に価格的には、大きな差はなかった。
- ・豊洲等近い所に手話サークルを作って下さい。行きたいのに、遠すぎる。
- ・本人(親)、息子ともに障害者で、生活が苦しいです。
- ・本アンケートの記入番に関してですが、今までに提出したものは全て両親が代理でした。本人が理解出来ないことが殆どです。今後は本アンケートの記入について受け入れません。
- ・本当に辛いときに助けてもらって、その人がありがたいと思えば義理にしないとします。すべての人が知らん顔をしないで立ち止まってください。
- ・障害があっても誰かの役に立つことができる機会の創出、提供、紹介は是非行ってほしいと思いました。ひきこもりになりがちなので、そのような場があれば、参加したいと思います。
- ・有料道路割引についてです。公共交通機関、タクシーの割引等と同様に手帳の提示で割引を受けられるようにして頂きたいです。レンタカー等で病院に通うこともありますので、ご検討いただけますと幸いです。現在は車のナンバーを登録し、その車以外では割引が受けられません。
- ・郵送する物のある時、切手を張らなければならないのが、違和感がある。無料にしていただけるとありがたい。就労者支援の手紙です。
- ・郵便局など公共性が高いものはバリアフリー化を必須にしてほしい。
- ・預ける施設がほしい。共同生活が出来ないので困難。付きそいが必要である。
- ・様々な支援が受けられることをもっとわかりやすくしてほしい(LINEで受けとれるように)。
- ・利用した事がなく案内もないためわからない。お世話になります、地域生活アンケートを書くついでに記入させていただきます。昨年ワクチン接種後脳出血

を起こしてんかん発症し現状精神障害者2級を持つ物です(以前から夏場に勝手に体が動き出し異常行動が見られ原因不明でとりあえずてんかんとされていた)来年頭に脳の手術を受けるか否かで悩んでおりますが私の出血部分に辿り着くまでに言語野を削り取らねばならず失語症になる可能性が高いとの事です(現状も軽い失語症がある)障害者手帳を取得した際にわかった事なのですが行政的な支援を受ける場合、自分から情報を発することが重要という事ですが失語症で独身一人暮らしの場合(障害者になったら次の日に離婚されました)文字が判らないので書類に記入もできず電話を頂いても言葉が判らず対応できない等情報を発信できない場合どのようにすればよいでしょうか。まだ失語症になったわけでもなく手術もしていないので曖昧な漠然とした不安ですが手術を受ける方向で進んでおりますので地域福祉の方に気に留めていただければ幸いです。

- ・理由はなんであれ差別はいけないこと。それをどうするか難しいこと。個々の人が考えて行くことも必要と思う。行政の働きに期待します。
- ・老人ホームには入りたくない。自宅で介助とか看護を受けたいと希望する者が一人暮らしになった場合、施設に入る以外に方法はないのか？もしあるならばどんな方法？具体的にわかりやすく書いたパンフレットなど作成して頂けたらと思います。

<障害児調査 問51>

内容	件数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホームスタートこうとう」のボランティア活動がとても良かったのでより多くの人が利用できるように(サービスの延長含め)してほしいです。療育中の受給者証でも、受けられる福祉サービスを充実してほしい。</li> <li>・「障害者福祉の手引き」が役に立っているが、更新頻度が不明。できれば年間で更新してほしい。</li> <li>・ガソリン申請が面倒である。1年分をプリペイドなどにして欲しい。通院によっては、使い切らない月やオーバーする月がある。</li> <li>・タクシーは車イス対応が増えているが運転手が使い方を知らない・駅のエレベーターは健常者が占拠している車イスが後回しになっている設置場所が悪い・障害福祉サービスの利用者負担額が4600円から33000円に急増するものではなく累進的に増加するものにして欲しい。</li> <li>・バリアフリートイレを増やす事や使いやすくしてほしいです。だれでもトイレと書かれている事があるが、普通のトイレで大丈夫な方が使用している事が多々あり、使用出来ない事が多々あり困っています。・夏休み等、学校が長期休暇中の放課後デイサービスの時間を長くして欲しい。10:00-16:00まででは、パートも難しい。女性活躍、両立支援から完全にこぼれ落ちています。母親が就労出来る環境が整っていて、社会とつながる事も大事だと思います。</li> <li>・学校後の放課後デイサービスを利用したいが、どこも一杯で利用できないので増やしてほしい。・水泳やダンスなどの習い事をしたいが障害があり一般のクラスは無理があり入れない。障害者にも入りやすい運動の習い事が増やしてほしい。</li> <li>・区立幼稚園で特性に応じた合理的配慮を常にしてくださるので、助かっています(他自治体で私立保育園に通っていた時は、事実上の退園勧告を受けたため)。</li> <li>・児童発達支援、放課後デイサービスを増やしてほしいです。(確保できず、千葉県の施設も利用しているため)</li> <li>・特別支援学級(自閉症・情緒障害)を小1から利用できるようにしてほしいです。支援学級でも内申点がつく仕組みにしてほしいです(将来の選択肢の確保)・区立幼稚園の廃園後、障害者福祉施設に活用していただきたいです。</li> <li>・集団ですぐす場所(ex. 避難所、集団予防接種会場)に、ついたてなどで仕切られたカムダウンスペースがあれば、自閉スペクトラムなどの人も、安心できると思います。</li> <li>・現在子供が特別支援学校の高等部に在籍していますが、卒業後の生活介護や通所就労継続支援施設に日中、通所した後の時間の過ごし方に困っています。学校通学時は、放課後デイサービス等への通所で、両親も安心して仕事を続け</li> </ul>	

られていましたが、卒業後は、そうした本人の過ごす場所が全くなくなり家庭しかない状態になり、両親の定時勤務前には、作業所等も終わっているので仕事も続けられない状況です。また本人がいろいろな人と関わりを持ち、(社会とのつながり)支えられ、安心してすごせる場所が、家庭以外になく、家庭での負担も大きなものがあります。保護者や(卒業者や在校生)の方々と話していても、ほとんどの方、家庭がかかえている問題だと思えますので、是非、卒業後も、放課後デイサービスのような支援の施設をつくっていただくと本人と家族共に、とても助かります。ご検討切にお願いいたします。よろしく願いいたします。

- ・江東区の端に居住地があるので、区の施設が全々ないので相談も行きにくい。・中学校は徒歩で40分以上かかる。体力ももたないので自転車通学を容認してもらいたい。・小学生になると相談出来る所が減っている。窓口があっても要望が叶う回答が得られず困る。100%叶えてほしいとは思いませんが、もっと親身になって対応してほしい。
- ・今回のアンケート、誰の考えが知りたいのか分かりにくいです。問41は、私が？子供が？問50もです。・愛の手帳を持っているが、何に使えるのかわかりにくい。交通費が割引になったりはするが、一般人よりも手間をかけないと、その割引が使えないしくみ。交通の無料パス(都営)の切り替えの時期も誕生日で不便。途中でタイプを変更できないのもおかしいと思う。・障害者も一般人も区別なく、暮らしやすいのが希望です。誰でも助け、助けられる。
- ・児童発達センターの充実・幼稚園へ加配をつけられるようにして頂きたい・幼稚園や保育園の先生へ障害の理解をして頂きたい・内容のない、ただの遊び場になっている療育も正直多いです。親から通っている療育の内容の調査等してもらえたら良いかと思えます。
- ・児童発達支援施設や放課後デイサービスの施設が利用希望者に対して少ないように感じます。もっと増やしてほしいと思えます。・発達障害が増えている中、特別支援教室(ひまわり)に通える時間数が少なかったり、特別支援学級が少ないように感じます。教員の負担も大きいと思うので、人員(教員)の増加と特別支援学習のできる場の増加を望みます。
- ・障がいといえども特性は様々です。ある放デイでは、職員の数が…と利用を断われた日もあると聞きました。ただ大きなスペースがあるだけで、中身のチェックを行政側の方からもお願いしたいです。適切な対応がなされているか心配です。何げないことが、「他の事業所へ移ってはどうか？」等、言われたことがありました。責任者の方、入る前は大丈夫との話をしていましたから。・ある子どもに関して親からの虐待の可能性があるかもしれないと他の親から

情報を入れても、私たちは、預かるだけで権限はないと返され、もう諦めてしまいましたと、話をしていました。

- ・曜日によって、普通級に通えたり、特別支援級に通えたり、柔軟にしてほしい。
- ・普通級でないと都立高校に行けないなど、壁をなくしてほしい。
- ・お金がかかるので、経済的な支援がほしい。(フルタイムは難しい)・勉強のサポートする放デイ等の充実・普通級ならば、サポートの先生がいてくれると良い。
- ・1歳半健診や心理士相談などをした際に、加配制度について、加配保育士をつけられる幼稚園や保育園の情報について教えて頂きたかったです。また児童発達支援に通っている子供は親が働いていなくても保育園に入園可能にしたり、優先的に入園できるようにしてほしいです。
- ・1日1カ所しか療育を受けられないことが不便です。仕事をしながら子の療育へ付き添うことが多いので午前と午後で別の療育に行ければ仕事を休む日も減り、両立しやすいのに…と悩みました。
- ・2年後小学校に入学するが放課後デイの数、定員が少なく、仕事を続けられるか心配。入所規準が保育園のように明確ではなく、施設任せなのが、不安。ワンストップではないので、あちこちに問い合わせをせねばならず、悩みの種。法律の問題かもしれないが、保育園のような入所方法にしてほしい。
- ・障害がある子を持つ親には、子育て支援のお金に制限を設けないでほしいです。働きたくても働けないママの気持ちをわかってほしいです。
- ・いつもお世話になっております。障害者施設によって質が様々です。現在は質の高い支援を受けられていますが、以前通所していたところではいろいろとありました。区で施設状況の把握と研修などしっかりと行っていただけると安心です。これからもよろしく願いいたします。
- ・インクルーシブ教育にしてほしい。義務教育なのに普通級と支援級を分けることが障害者差別につながっていると思う。幼い頃から別なのに、大人になって企業に障害者雇用されても健常者との人間関係に苦勞する。
- ・うちは主人が福祉職なので理解も協力もあるが、障害児の母親がとても苦勞している。その障害児の母親の支援は手厚くするべきだと思います。離婚したら働けないし子育て自体も出来ない事が多い、もう少し当事者の声を聞くべきだと思います。
- ・グレーゾーンといわれる人が受けられるサービスを考えてほしいです。手帳がとれないために、受けられないサービスも多く、かつ、小学校卒業後の進路や、就職も不安しかありません。
- ・グレーゾーンの子供の進学について。中学校が支援級、精神障害で高等、支援学校に行けないのは、おかしいと思う。知的障害はなくても、担当の推薦状で受験出来るようにしてほしい。
- ・こども発達センターに通っています。一日支援コースですが、要望として①朝の送り時保護者の滞在時間を短くしてほしい(他コースの方は送ってすぐ退出で

きるとのことです)②バス送迎がありますが、保護者同伴ではなく子どもだけ引き取ってもらいたい(保護者の帰宅手段が現状ありません)③就労している保護者の為に、17~18時ごろまでの預かりサービスが欲しいです。

- ・こども発達支援センターがもう少し多く利用できるようになると、子供も成長すると思います。STやOTetc、専門的なプログラムを受けられる機会があるとうれしいです。
- ・この冊子の障害者にはわが子は含まれないため設問への回答が的確なものをほぼつけられなかった。検査では障害と認められないグレーゾーンにあたる多数の方々への支援の充実を図ってもらいたい。生き辛い世の中で、グレーゾーンの人たちは周りの理解ない人たちからの偏見にあい、苦しい思いをしています。メンタルケア、学校の先生など家族の次に長く接するの方々への対人スキルを上げてもらいたいです。保育園ではわが子が隔離されることがしばしばありました。クレームへの配慮とは思いますが、わが子がその時どんな気持ちで小さな部屋で遊んでいたのかと思うと心が痛いです。グレーゾーンの子も楽しく過ごせる保育環境の充実も望みます。
- ・コロナワクチン接種時に障害者対応を作ってほしい。会場でパニックになり(マスクの必須などの強要で)大暴れしてしまいできなかった。
- ・どこに行ってもアウェイです。新宿二丁目のような(きちんと理解しているわけではありませんが)障害者がホームと思える地域を作ってほしいです。そこは障害者が生きやすく、理解ある人、支えてくれる人がたくさんいて、ふつうの人が遊びに来るときは障害者が基準なことを理解して来てほしい。誰もが温かく感じられるモデル地域を作って欲しい。障害者が地域社会に行くのではなく、逆に来てほしいです。理解はそこからな気がします。一般の人が来なくなるような居心地の良い地域を作ってください。
- ・どのような相談・サービスがあるのかわかりにくい。
- ・なぜ、区内にグループホームが作られないのですか？
- ・ハードルが低い、障害児が取り組みやすい水泳教室を開講してほしいです。亀スポの水泳教室の日数を増やしてほしいです。障害児のショートステイが不足しています。民間でさえありません。リバーハウス東砂は成人の方と一緒に使いにくいです。放課後デイにショートステイも行うように行政から働きかけてください。本当に困っています。
- ・放課後等デイサービスを利用できるようにしてほしい。
- ・フルタイムで仕事がしたくても療育に連れていったりもしないといけないので難しい。その分金銭的にも厳しくなるので働けない分の金銭的なサポートが欲しいです。
- ・まずは地域の方々“知ること”が一番大事だと思います。外出先などでイベントをやり、誰でも気軽に知ることのできる場を積極的に設けていくことで、意識や理解も変わると思います。

- ・もう少し母子家庭で子供が2人以上いる家庭に優しい区であってほしい。収入1000万も稼いでいるわけでもなく普通に考えれば他の子にも学費がかかるのに、勝手な収入ラインで何もしてもらえないのが厳しい。
- ・以前も何かのアンケートで答えましたが…、江東区は川が多く、橋が区内に多くあるのが特徴であると思います。たまたま家族の者は誰も車イスに乗っておらず不便を感じた事はありませんが、区内で橋を渡る時に車イスの方が手押しの車イスで橋を渡るのに苦労している姿を3度程見た事がありました。何とかしてあげて欲しいです。
- ・介護者への支援(レスパイト入院)、本人を受け入れるサービスの充実。塩浜CoCoの療育は単なる「お遊びで療育としては全く役に立っていない。都立大塚病院のような療育を豊洲で受けられるようにしてほしい。小学校の教職員、児童含め、区立学校全てで発達障害者への理解を深めるようにしてほしい。
- ・各種申請や手続きの窓口が統一されておらず手続きがとても大変。1つの窓口で全てが完了するような体制が欲しい。今の状態では申請をしたくても複雑すぎてできない方もいると思う。
- ・各種補助の所得制限を引き上げてほしい。(緩和)東京の生活費を考えて決めてほしい。
- ・割引になるレジャー施設や、無料パーキングを増やしてほしい
- ・共働きでも生活できるようなサービス(小学校から放デイまでの移動など)を充実させてほしいです。
- ・区のアピールが少ない、知らないことが多い、チラシなどで良いのもっと個別情報が知りたい。私達が分かっている、まわりの人たちが知らなさすぎて差別がヒドイ。ノーマライゼーションの考え方をみんなに知ってほしい。共存していくための「心」を感じることができない。本気で取り組んで下さい。
- ・区の運営する施設にも、私営の事業所の情報をもっと教えてほしい
- ・現在、小学校の通級(ひまわり教室)は基本的に1年で退級することになっているが、希望者は、必要な年数通えるようにしてほしい。ADHD(うちの子)は、1年通って良くなるものではないし、学年によって困りごとは変化していくものだと思うので、学年にあった指導をしていただくと助かります。
- ・現在CoCoにお世話になっていますが、就学後は民間の放課後デイサービスのみになってしまいます。切れ目ない支援が受けられるように、就学～成人まで相談支援や療育が受けられる機関を作ってください。
- ・現在塩浜CoCoを週1で利用しています。もっと日数を増やしたいと考えていますが、希望者が多く現状無理です。質を落とさず、もっと受け入れやすい児童発達支援になって欲しいなと思います。
- ・現場の意見を聞いてほしい。現状を見てほしい。
- ・個人で例)NPO法人を設立etc、子どものための入所・働く場所を作りたいと思った時にどこに相談したらいいのか、費用・条件・資格etc…色々問題は山積



みだと思いますが、そういった情報の入手先、窓口を明確に作ってほしいです。セミナーなど。同級生の親たちで設立できたらいいなとよく皆で話しているの、しっかりとした道しるべをおねがいします。

- ・江東区が定期的に助成している施設に訪問して、経営サイドと利用者両方にアンケートを実施し、モニタリングしても良いと思います。今、この生活が送れる事に心から感謝しています。もっと辛く大変な方もいらっしゃると思います。社会に役立つ事をしたいです。行動とお金が集まる企画と執行をお願いします。
- ・江東区に限らず、自分から情報を取りに行かないでいると「あー、こんなサービスもあったのか。○年前に知りたかったな」なんてことがよくあります。区役所などでもっと「これ知っていますか」という声がけだけでもあるといいかなと思います。
- ・江東区に限りませんが、ボーダーへの支援に不足を感じます。情報も少ないと思います。区報のように月1回で良いので、年齢別に情報欄を別けて、情報発進をして欲しい。小学校から支援級に通っているのに愛の手帳がないと支援学校への入学が出来ないのはおかしいと思います。中学で支援級に在籍しているなら受験資格として欲しい。
- ・江東区は障害者支援が、都内ではかなり遅れているとよく聞きますが、まさに痛感している。子供が発達で指摘されたとき CoCo か親子教室の選択肢がなく、CoCo の先生の専門性は高いと思うがいつも希望者でいっぱい、適切な希望するサービスが受けられない。
- ・江東区内の障害(疑い)のある乳幼児が多く通うNPOがあります。子供が1才1ヶ月から卒園まで通い、様々なサポートを受けました。3拠点あるうちの1つが建物の老朽化で移転先を探していますが中々見つからないようです。江東区からも物件の確保にご協力頂けないでしょうか。現在も相談支援でお世話になっています。より良い場所で支援を継続していけたらと思います。
- ・江東特支や墨東特支の老朽化。特支の生徒数が増えているので設備をもう少し考えてもらいたい。
- ・高機能自閉症の場合、現状ひまわり学級に通級するしかなく、週1日2時間程度では不十分、学校内に支援級を設けて(知的ではなく)必要に応じて交流級で授業を受けられるようにする仕組みを望んでいる。
- ・国として安楽死を積極的に取り入れて欲しい。障がい者だけでなく病気で苦しんでいる人(障がい者の家族もいると思う)。
- ・災害時に避難が必要な場合とても不安です。パニック等で静かにできないかと思います。皆が大変なときに理解を求めることはできません。自宅に戻ること(留まる)を選択してしまいそうです。
- ・子どもが幼稚園で加配の先生についてもらって生活をしています。私の子どもはこだわりが少なく、先生がついてくると幼稚園生活を楽しめていると思います。ただ、まわりの加配がついているお友達で自閉スペクトラムの傾向

が強い子はなかなかこだわりを理解されずに、お母さんもお子さんも苦しんでいる方が多いです。加配の先生方は子どもが大好きで優しい方が多いですが発達障害に対する知識は無いと聞いています。少し理解のある方が増えると嬉しいなと思います。

- ・子どもたちにとって必要そうな良さそうな提案を区などからしてほしい。後手後手になり生きづらくなる。
- ・子どもの困り事が始まった時になかなか CoCo につながらず困りました。(色々な所に相談してやっと CoCo を教えて頂きました)もう少し早く CoCo で相談する事ができたら親子とも助かったのと思う事がありましたのでもう少し CoCo の存在を広めていただけたらなと思います。
- ・子どもの発達が気になり CoCo に通っています。幼児期はみていただけますが、小学校からフォローしてもらえる施設がなく、又、小学生になって気づいても、気軽に相談できる場所があればと思います。又、グレーゾーンの子どもたちは行き場がなく、障害と認定された方だけではなく、それ以外にも悩んでいる方はいると思います。自分自身がそうです。そういったグレーゾーンの子どもたちをもつ親が頼ることができる施設や相談所をもっと充実させてほしいと思います。
- ・子どもの発達障害に向き合ううえで、からだを壊しました。子どものことを相談することで手一杯で自分のことをおろそかにしすぎたと思います。相談する場所が欲しかったです。
- ・子どもは中学での勉強が不登校のためできなかったのが江戸川区の夜間中学への進学を考えています。江東区にも夜間中学があったらいいな、と思います。
- ・子供の事でなく、申し訳ないです。私(母)が障がい者(障がい者手帳2級)で、中々仕事も決まらず、大変苦しいです。借金もあり、子供が2人いるので、生活も夫だけでは厳しいので、仕事を充実させてほしいです。
- ・施策と言われても、こちらが調べないと情報が入手できないのでは。
- ・子供の進級、進路について常に不安です。同じ親同士のコミュニティーや気軽に情報共有できる場が欲しい。又低額で利用できる放課後支援施設が少なく入所できない為、学習支援の機会が持てず大変困っている。
- ・指示が通りにくく、危険も察知できないので、常に側で身守りが必要でした。障害者専用の遊び場(危険なものがない)があれば、ほんの少し親の気持ちが軽くなるかなと思います。あと障害を持って生まれた子が、どのような選択肢があり、どのような道があるのかの周知が欲しいです。この質問はどこに言っても具体的な答えは返ってきません。支援員さんのような、担当の方がいてくれるなどの制度も欲しいです。
- ・支援級在籍の為日々学校への送り迎えが必須です。その為仕事も送り迎えに合わせて調整や選択をしなければなりません。朝早い時間からの預かりや、お

迎え等が柔軟に対応出来ると、保護者の職業選択も広がると思う。認可保育園程度の柔軟性を是非ご検討頂けると幸いです。又、支援級の学習進度がもう少し個々に応じていると大変ありがたいです。

- ・施策や情報を確実に障害者家族に伝達するように、相談しやすい環境を作ってほしい。宜しくお願いします。
- ・手厚い支援を受けられていると思います。
- ・手帳を取得するまでに時間がかかりすぎる。医師の診断書があっても手帳を発行してもらえないことで苦勞している人がたくさんいる。放課後デイや移動支援が足りておらず、仕事との両立、キャリアアップを諦めなければならないのかと不安。
- ・受給者証を使っているが、自費の訓練などがあり(LDセンターなど)経済的にはつらい。中央区のように何か金銭的支援がほしい。
- ・周りの人の理解を深めるような施策をたくさんお願いします。
- ・就学相談などでグレーと言われている子供は不利。相談打ち切りと言われた時の絶望感と不安は区役所また教育委員会の人々に分かってもらえているのだろうか。
- ・就学相談等、教育委員会の人材がひどい。2度と会いたくない。全く子どものことなんて考えておらず、親のことも見下したような物言いだし、相談中に居眠りしている人もいた。そんな人間に子どもの進路、人生のその先を決められるのかと思うと怒りしかない。
- ・小・中学校でのインクルーシブ教育の普及をお願いしたいです。
- ・小学校・中学校の通級体制の拡大が見直し。
- ・所得制限をなくしてもらいたい。親亡き後のために財産を少しでも多く残したい。障害者が1人で生活する費用が少なすぎるので改善してもらいたい。3才過ぎて歩けない娘は重度知的で自閉症です。病院、歯科、初めて行く場所はパニックになり自傷や親のかみの毛をひっぱったり、噛みついたり、本当に大変です。何カ所か行った歯科で慣れるまで1ヵ月に1回来てくださいと言われて何回か通っていました。毎回大暴れで親の肩に噛みついたりしている娘の姿をみて「ママさ、この子かわいそうだから帰った方がいい」と歯科医に言われすごく傷きました。私も娘も、虫歯予防のために必死に通院しているのにその言い方はないと思いました。コンビニより多く歯科があるのにもかかわらず、少なくとも3ヶ所は通えませんでした。もっと障害者に理解がある歯科医が増えてほしい。訪問歯科に連絡しても、発達障害児だと行けないと言われ、病院に通うのですらハードルが高すぎます。
- ・小さな子どもを育てているので、これから長い人生を歩む子ども達が、多様性を尊重しながら楽しく暮らせるようなみんなが住みやすい区になってほしいです。

- ・小学校に情緒や学習面で必要な児童に対しての支援員の常設を強く希望する。(できれば卒業まで同じ支援員で)日常的に少しのアシストで本人も周りの児童も円滑に学校生活を送る事が出来るように思う。
- ・小学校のひまわり教室の制度が、あまりうまく活用できていないと思います。職員の巡回により発生する、タイムロス、子供とのコミュニケーションの不足、職員の負担増が問題だと思えます。せっかくある制度はもっと有効に使うべきだと考えます。他の地域はもっと上手く使用していると聞きます。ただ作るだけでは意味がないと思います。
- ・小学生になる時、息子は支援級に入れたかったのですが、人数が一杯で入れませんでした。結果、普通級で過ごせて良かったのですが、最近、小1支援員をやらせていただき、本人が辛そうでも無理して親の希望で普通級に入学してくるお子さんを見かけます。ご家庭の判断で仕方ないとは思いますが、本人が座っていられず、かわいそうで…もっと、入学前の判定で情報を与えて選択肢を増やすべきだと思います。先生方も、もの凄くご苦労されています。見ていて気の毒です。
- ・障害が障害分野だけで語られていることに、これまでも課題を感じてきました。あるべき社会の実現に向け、縦割の体制が変わらないことも残念に思います。真にインクルーシブな社会、共生社会の実現をこの江東区からぜひ実現できるように、産官学・市民をまきこんでつくって欲しいです。
- ・障害児12才と幼児をワンオペで育てています。2人一緒に連れて出かけることが難しく、休日は家の中でずっと動画を見ています。どちらの子にも申し訳ないです。移動支援の受給者証もありますがヘルパーさんが見つかりません。身体も大きく動きも早いので若くて体力のあるヘルパーさんがいてくれたら嬉しいです。
- ・障害児が公園で遊んでいる姿をみたことないのですが…障害者が遊べる公園はありますか？どこにいても何をしても冷たい目で見られ、親が少しでも怒れば子供が泣いている、虐待だと言われ外に出づらい。健常者は神様なのですか？健常者に対して意識改革して頂きたい。
- ・障害児の所得制限について、国の制度によるものが多いが、自治体によって独自の対策をとっているところもあるため検討いただきたい。一定の所得に達すると全てのサービスが打ち切られることになり、逆転現象が発生してしまう。特に放課後デイサービスの 4,600 円→37,200 円のバーの上がり方が大きすぎるので、間に 15,000 円ぐらいのバーはとれないでしょうか。現在、37,200 円/月満額利用者もそれほどいないように思うので利用負担金の区分を一度集計いただけないか相談したいのですが、どちらに伝えれば良いでしょうか。
- ・障害者が施設に入所した場合、毎日リハビリが受けられる様になど出来る様になると良いと思う。(現在、自分の子供は障害者ではないが)又、介護や介助サ

ービス提供者と医療機関と、利用者の情報のやりとりがもっとスムーズになる様に出来たら良いと思う。利用者の負担(手間)を少しでも減らす為。

- ・障害者の人数が増えていますが、高校卒業後安心して暮らせる受け入れ体制を増やしていただきたいです。作業所やグループホーム等、江東区に根付いて区にも貢献できるような施設などを充実させていただけると、今後それによる引越しなどをせずに暮らせる方が減ると思います。事実、高校生の子供の友人達は江東区での将来がみえず区を離れてしまっておりま。
- ・障害者支援は充実していると感じるが、分離した対応となっていると思う。障害の有無に関わらず、共生できる、インクルーシブな社会の実現に向けた取組を期待しています。
- ・障害者施設に対する情報が少なく、自分で区のHPを見て調べたり、介護事業者に電話して調べたりしなければならないので不便を感じる。区の障害者支援課に行っても職員がよく理解していなかったりして相談するところがない。区役所に専門的知識をもった職員を配置し、24時間365日電話で相談できるようなコールセンターを設置してほしい。
- ・障害年金、診断書は2級レベルなのに不給、正直ふざけているとしか思えない。何で決めているのですか？これ以来、江東区に不信感しかない。年金は国の施しではなく国民の権利です。
- ・色々なことに興味がある子ですが気分や多動繊細な子なので他と行動、スポーツがやりたくても難しいようです。ひまわりの先生にも話しをしますが先生だけではやれる所が限られているという話で終わってしまいます。もっと授業でも子供に合った授業が受けられることで、その子の特性や自信が出てくるしすごい能力が有るので勿体無さを感じます。集中力が有るので追求する力は有ります。漢字が好きな子でテスト等、難しい漢字を書いて出すと当たっていてもひらがなでと書かれ×をもらい子供の成長と問題が合っていないよう感じにとまどいます。テストはそのようにしましょうと子供に伝え他にそういう伸ばす所があればいいですね(愛のある敬意の見守りキッズB)放課後支援を伸ばしてほしい(何年生でも通えるように)。
- ・身体障害についての施策についてはわかりませんが、発達障害については学校選択の幅がより広がるといいと思います。知り合いの他区在住の方のお子さんは発達障害で6年次で学級崩壊があった際に学習に集中できないため支援級に入級したと聞いています。息子も同級生からのいじめで不登校気味になり二次障害が心配です。柔軟に学校選択をできるようにしてほしいです。
- ・相談するところはたくさんあっても、たらいまわしにされることも多いと感じます。学校の先生方には、障害児への理解をもっと勉強してほしい。
- ・送迎を増やしてほしい。療育までの送迎・保育園から療育など大変。
- ・息子はグレーゾーンなので特に区から密接な支援は受けていないが、放デイ通いや役所の相談サービスは利用している。放デイにもよるかもしれないが幼稚

園のころの発達支援と比べ、手厚くなったと感じる。区の相談も保護者への相談サービスはあるが、心身になってもらっている感じはしない。CoCoの方がずっとよかった。また小学校の担任の先生の発達障害への理解のなさは驚く。クラスに数名いるはずで、一応は就学相談を受けOKでた上で、通常学級に通っているのに、スクールカウンセラーにもなぜ普通学級なのか？など遠慮ない言葉を言われ驚いた。まるで保護者が悪いかのように言われて、二度とスクールカウンセラーと話したくないと思った。担任の先生は発達障害についてもう少し学んでほしいし、スクールカウンセラーはもう少し人へずけずけと言わないことを考えてほしい。とてもデリケートな問題だし、すごく悩んでいるからカウンセラーを利用していることを踏まえて欲しい。本当に頭にきています。

- ・息子は自閉症ですが、障害に合った通所施設があまりなく、現在、自費でABAという自閉症児に特化したレッスンを受けています。さまざまな障害に特化した通所施設が充実して頂けると有難いです。幼児期に困り事等、少しずつでも解消していく事がその後の成長に大きく影響すると、強く感じています。
- ・他自治体と比較し放デイ等の通所がしやすいことはとても助かるが、その反面広く浅い支援になってしまっている。グレーかほぼ白でも利用している子供が多く、結果浅い支援につながっている(児発と比較して)就学後のCoCoの様な場所が必要では？。
- ・男性でも子宮頸がんワクチンを受けさせたいのですが金銭的な負担が多すぎるので、できれば無料、割引クーポンを発行していただくと助かります。障害があるからこそワクチン打って防げる病気を防ぎたいのです。医障保険も入れないものがほとんどなのでよろしくお願い致します。
- ・中学1年で、通常学級に通っています。知的障害の現状に応じた個別支援、指導を期待して特別支援級への転学を検討し、授業を体験しました。担当教諭らの在校生徒への言動は高圧的で、不適切でした。又、知的障害を有する生徒に対する合理的指導とは乖離した独善的な指導がなされていました。さらにこの実情が長年放置されていると推察されました。よって転学はあきらめました。息子の残り2年の中学生活に間に合うかどうか分かりませんが、地域の障害者施策の充実という観点でも、早急かつ抜本的な改善を期待します。
- ・中学生の息子が放課後等デイサービスを利用させて頂いています。家族の休養や兄弟のケア、家に息子がいるとできないことも多く、大変助かっています。スタッフの方達もとても温かく満足していますが、ここ数年施設への規則等が厳しくなっている様で、今後施設が継続できなくなると、家族も困ります。質の向上はありがたいですが、施設が運営しやすいようにお願いしたいです。／子供でも利用しやすいショートステイの施設があるといいなと思います。今は他区や千葉県の施設を利用しています。
- ・通学区内に支援級のある小学校がなく、現在通常級に通っている。全ての小学校に支援級があると、転校・転居の心配なく通わせられるので助かる。

- ・働いている一人親に対して本当に支援が少ない。学校全部になぜ支援級を入れないのか？また、普通級をフォローしてくれる人も少なすぎる。かなり問題です。
- ・同じような内容の話を学校・病院・放デイ・区役所で何回もしなければいけないのが負担です。国の施策になるとは思いますが情報を共有できるシステムがあればスムーズなのにとすることが多々あります。
- ・特になし。
- ・特児が下がったのでそれに代わる区オリジナルの手当てが欲しいです。
- ・特別児童扶養手当などに所得制限があり、うち切られ、所得があがったことにより、保育料金も上がっています。所得の限定額が低すぎるのでは？と思います。そこまで、収入があがったわけでもないのに支払いばかりかさんで、区だけの問題でないとは思いますが、子育てしづらと思います。施設も大事ですし、イベントもありがたいですが新しくつくるより、制度を見直してほしいです。
- ・入所施設での殺害や虐待の事件をニュースで見るたび将来入所施設に入れたくないという気持ちが強くなる。うちは重複障害者で重度の知的障害+身体にも障害があります。親だけで見るのは、年齢があがっていけば無理になってくと思うが、地域で見えてくれる流れ(昼間は福祉園、夕方はヘルパーや放課後施設のようなところがあればいい、夜はグループホーム、週末は自宅、家族で)があれば、色々な人が関わり、家族ともすぐに会えるし、安心して過ごせるのと思う。重度の人も住めるグループホーム作ってください、お願いします。大人も通える放課後施設作ってくださいお願いします。
- ・年齢や学年に応じた施策の種類や連絡先などの情報をまとめ、まとめた場所を周知(ここをみればわかる)してほしい。
- ・発達障害・発達遅延の児童に対する経済的・物理的支援が何もない。手帳もなければ、受給者証もない。グレーゾーンの子の支援はどうしていくつもりなのか、知りたい。いつまでも支援センターに通所するのは、疲れる。
- ・発達障害で読み書きが苦手な状況の中、適切な支援が追いついていないと強く感じます。横のつながりがいいのか、問合せしても同じことを何度も繰り返さないといけないため、どうしたらいいか途方に暮れることも多いです。学校から教育委員会に情報収集をしてもらえず、保護者が全て動き情報を得て、学校側に伝えている状況は、不信感を覚えます。
- ・発達障害のある子どもに対して小学校低学年までは手厚いが、それ以降のケアは各家庭に任せられていると感じている。高学年以降は親も子どもも「できない事をできるように頑張る」ではなく、「できない自分(子)を受け入れて、どうしたらいいのか考える」事が必要だと思っているが、その支援はあるのか？と思っている。
- ・発達障害の薬に関する勉強会をしてほしい。・親が理解してない、困っている子を小学校で見つけてフォローする仕組み。作業療法士を各学校におくなど療育

につなげる。・CoCoの受け入れ拡大(幼いころからのフォロー)・小学生対象のことばときこえの教室が(南陽小)江東区に1カ所なので増やしてほしい。・保健所の相談(思春期精神保健相談)のように専門の先生(ドクター)と話せる場所や時間の拡大。(どこに相談してよいか分からない人が多い)・発達障害の登校拒否児の居場所づくり・障害者が自由にあそべる場所(公園)等・どこの療育や放デイが自分の子に合っているかわからないので、療育や放デイ(療育)が合っているか相談できる窓口が欲しい。

・保健所の定期検診(スクリーニング)が甘い。(子どもが0歳の時から違和感を訴え続けてきたが、まともに話しを聞いてもらえず、無理やり発達相談センターにつなげてもらった。3歳になって、自閉症の診断を受けた。)発達障害に理解のある、判断できる人材を確保し、関係機関と連携できる体制を構築して欲しい。

・補聴器の購入等の助成金申請に所得制限があるのはおかしいと思う。障害のある人となない人とが同じステージに立つための補聴器であり、医療と同じように、せめて3割負担にして欲しい。

・放デイの質の向上、通える放デイが少なすぎるし、今の制度では良質な放デイの経営が難しくなる。児童発達支援施設も少なすぎて、通える子供が限られてしまっている。数を増やして欲しい。

・放課後デイサービスの数が少ない。1日に利用できる人数が少なすぎて、空きがない。保育士などの資格がない人もいるので、きちんと見てくれているか不安。

・放課後デイサービスの利用額が所得に応じて上限が変わること。上限額を一律とし、所得に応じて変わる制度をなくしてほしい。又は上限価格をゆるやかな上昇にしてほしい。「4,600円/月」上限から「37,000円/月」に急に上がることは経済的負担が大きすぎる。

・放課後デイを利用していますが経営が大変そうなので安定した経営ができるようにしてほしい。学校を出て、デイも利用できなくなると土日の居場所がなくなり、家でダラダラするばかりで太ってしまうという話を聞くので、余暇活動の充実をサポートしてほしい。

・本アンケートの設計が良くないと思います。介護の要否で項目をわけ、要介護の場合は事実や実態の調査、介護不要の場合は同じ設問の中で制度やサービスに対する理解度や認知度を測るように設計した方がよいと思います。答えていて意図が分かりづらかったです。

・娘が小学校に通う事になってクラスに沢山の子供が情緒不安定で困っているところを見ます。軽い症状であってもわざとではないということをお子も理解できるように資料配布、特別授業などをやってほしいです。ex)吃音って知っている?こうしてくれると助かるなど。



- ・娘は診断名のつかないグレーゾーンです。手帳が取得できないことで、将来利用できない福祉サービスがあることに不安を感じています。また、放課後等デイサービスの施設数や質の向上、公立小・中学校への専門員(OT・PT・ST)の巡回等を希望します。また、発達障害の一般周知や親子共に(一わたくし自身もADHDのため。)発達障害をもつケースへの支援(ケース学習等)充実も願います。
- ・幼稚園(区立も私立も)、小中学校への加配や介助員の配置が手薄に感じる。それと小中学校については、障害の有無に関係なく外出者の警戒が全くないため不審者がフラッと入りこめてしまう状況に見える。景気が悪くなり悪質な事件も増えているのだから、昔と同じ外来者対応では危険だと思う。学校警備員の配置や、防犯カメラ、施錠の徹底や子供たちを見守る体制をしっかりと作ってほしい。特に障害のある子は、校門が開いていたらスルッと出ていってしまうこともあるので…。(授業時間中でも)また、公立幼稚園が減っていることも心配している。(我が子は私立に断られたので、公立園がなかったら行くところがありませんでした)未就学児の教育について、区立園を存続させてほしい。私立は障害児の受け入れに消極的かつ人員も手薄に思える。
- ・来年4月より小学一年生になります。未就学児(3~6才)の時は扇橋 CoCo と民間の発達支援施設にお世話になっておりますが、一年生から放デイに通おうと思いましたが数が少なく、近所の事業所は既に満杯と言われました。小一から通える施設を強く希望します。
- ・利用者負担の上限、今は共働きだが、もし一般2の費用になるなら仕事を辞めようと思う。子供に合った支援を…と思うのに精通している人に出会えず、いつも「これ以上にできることはないのだろうか」と不安になる。普通級にいながら教科によって支援級に行ったり、または補助の方を付けてほしい。
- ・利用者負担の上限月額が現在37,200円です。前区分の4,800円(?)からあまりにも額に差があると思います。世帯主の所得は上がったのですが、その分激務でもあるため、ほぼ母一人の介護、レスパイトも気軽に使えなくなり、肉体的精神的な疲労が増しています。所得制限で手当や助成も外れ、所得があがって逆に生活レベルは落ちています。この件の再検討、見直していただけないでしょうか。
- ・療育施設(2人の子が発達障害)で、送迎、つきそい、話しあい等、やらねばならず、働くことができず、仕事をやめた。主人の年収で子育て支援もうけられず、幼稚園に2人で5万円/月払い、13:30頃帰ってくるので、新しく仕事を探すこともできない。老後の資金など全く貯められず2人の学費も心配、質素な生活をしている。発達障害・障害児が2人以上いる家庭の子育て支援に所得制限を設けないでほしい。というより、子育て支援は一律で配るべき。少子化は止まらないと思います。辛いです。自由もお金もない。改善してほしい。子どもを

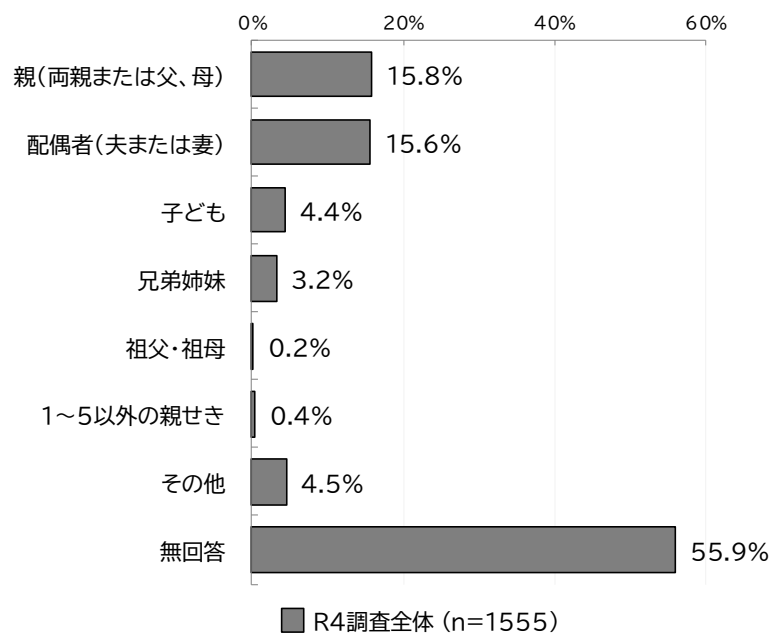
生むと不自由、貧困となり、子どもを愛せず辛くあたってしまいがち。負のループから抜け出せない。

## 11 介護者について

問. 主たる介護者の方の続柄(ご本人様から見た関係)と年齢、1日の平均的な介護(介助)の時間数について、お聞きします。続柄は、あてはまるもの**1つに〇**をつけてください。**年齢と1日の平均的な介護(介助)の時間数は、それぞれ記入**してください。

### <障害者調査 問58>

主な介護者の続柄は「無回答」以外で、令和4年調査全体では「親(両親または父、母)」が15.8%と最も高く、次いで「配偶者(夫または妻)」が15.6%、「その他」が4.5%、「子ども」が4.4%となっています。



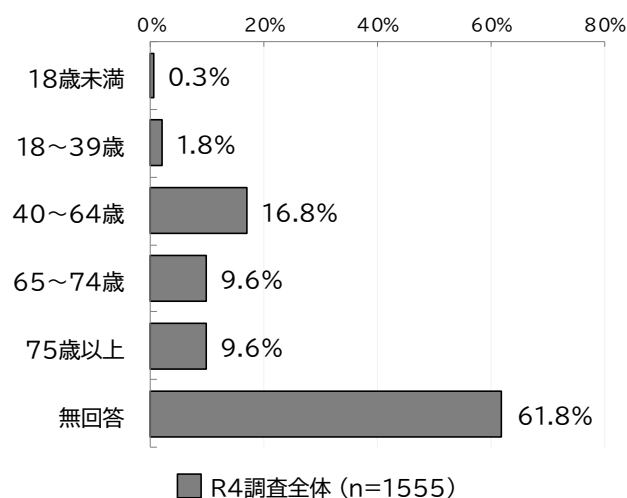
障害種別ごとにみると、知的障害で「親(両親または父、母)」が55.1%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、18～39歳で「親(両親または父、母)」が43.7%と他の年齢と比較して高くなっています。また、75歳以上で「子ども」が14.3%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問58.介護者の続柄								
		親 (両親または父、母)	配偶者 (夫または妻)	子ども	兄弟姉妹	祖父・祖母	1～5 以外の親せき	その他	無回答	
障害種別	身体障害	616 100.0%	59 9.6	144 23.4	50 8.1	16 2.6	1 0.2	2 0.3	19 3.1	325 52.8
	知的障害	301 100.0%	166 55.1	0 0.0	2 0.7	27 9.0	1 0.3	1 0.3	23 7.6	81 26.9
	精神障害	385 100.0%	51 13.2	47 12.2	13 3.4	9 2.3	0 0.0	2 0.5	17 4.4	246 63.9
	難病	454 100.0%	30 6.6	90 19.8	21 4.6	7 1.5	0 0.0	1 0.2	21 4.6	284 62.6
	発達障害	92 100.0%	35 38.0	6 6.5	3 3.3	3 3.3	1 1.1	0 0.0	5 5.4	39 42.4
	高次脳機能障害	90 100.0%	18 20.0	20 22.2	5 5.6	4 4.4	0 0.0	0 0.0	3 3.3	40 44.4
	年齢別	18～39歳	311 100.0%	136 43.7	14 4.5	5 1.6	0 0.0	2 0.6	0 0.0	7 2.3
40～64歳		661 100.0%	95 14.4	92 13.9	13 2.0	22 3.3	1 0.2	0 0.0	29 4.4	409 61.9
65～74歳		301 100.0%	4 1.3	63 20.9	12 4.0	21 7.0	0 0.0	3 1.0	21 7.0	177 58.8
75歳以上		258 100.0%	10 3.9	73 28.3	37 14.3	7 2.7	0 0.0	3 1.2	11 4.3	117 45.3

## ア)年齢

主な介護者の年齢は「無回答」以外で、令和4年調査全体では「40～64歳」が16.8%と最も高く、次いで「65～74歳」「75歳以上」が同率で9.6%となっています。



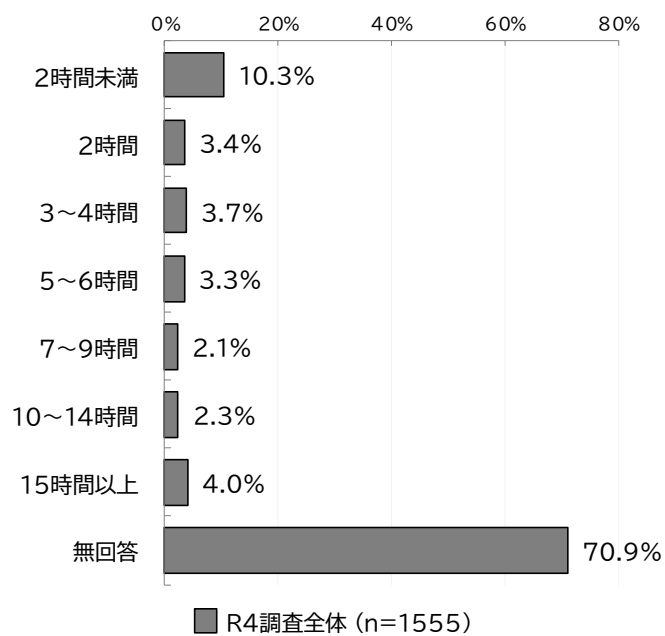
障害種別ごとにみると、「40～64歳」の介護者が知的障害で31.6%、発達障害で31.5%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、18～39歳で「40～64歳」の介護者が30.9%と他の年齢と比較して高くなっています。また、75歳以上で「75歳以上」の介護者が25.2%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問58ア).介護者の年齢						
		18歳未満	18～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答	
障害種別	身体障害	616 100.0%	2 0.3	15 2.4	95 15.4	64 10.4	85 13.8	355 57.6
	知的障害	301 100.0%	1 0.3	1 0.3	95 31.6	52 17.3	38 12.6	114 37.9
	精神障害	385 100.0%	2 0.5	7 1.8	62 16.1	27 7.0	21 5.5	266 69.1
	難病	454 100.0%	2 0.4	11 2.4	60 13.2	41 9.0	36 7.9	304 67.0
	発達障害	92 100.0%	1 1.1	2 2.2	29 31.5	7 7.6	5 5.4	48 52.2
	高次脳機能障害	90 100.0%	0 0.0	1 1.1	19 21.1	13 14.4	12 13.3	45 50.0
	年齢別	18～39歳	311 100.0%	1 0.3	11 3.5	96 30.9	36 11.6	5 1.6
40～64歳		661 100.0%	3 0.5	9 1.4	105 15.9	36 5.4	60 9.1	448 67.8
65～74歳		301 100.0%	0 0.0	6 2.0	27 9.0	59 19.6	19 6.3	190 63.1
75歳以上		258 100.0%	0 0.0	1 0.4	34 13.2	18 7.0	65 25.2	140 54.3

### イ)1日の介護時間

主な介護者の1日の平均介護時間は「無回答」以外で、令和4年調査全体では「2時間未満」が10.3%と最も高く、次いで「15時間以上」が4.0%、「3～4時間」が3.7%となっています。



障害種別ごとにみると、高次脳機能障害で「3～4時間」が10.0%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、知的障害で「7～9時間」が7.3%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、「2時間未満」～「3～4時間」までは年齢による差はほとんど見られませんが、「5～6時間」～「15時間以上」は18歳～39歳と75歳以上が他の年齢と比較して高めとなっています。

		合計	問58イ).介護者の1日の介護時間							無回答
			2時間未満	2時間	3～4時間	5～6時間	7～9時間	10～14時間	15時間以上	
1段目 人	2段目 %									
障害種別	身体障害	616 100.0%	70 11.4	22 3.6	29 4.7	23 3.7	11 1.8	16 2.6	36 5.8	409 66.4
	知的障害	301 100.0%	31 10.3	15 5.0	14 4.7	18 6.0	22 7.3	18 6.0	27 9.0	156 51.8
	精神障害	385 100.0%	38 9.9	13 3.4	15 3.9	9 2.3	2 0.5	4 1.0	13 3.4	291 75.6
	難病	454 100.0%	49 10.8	12 2.6	11 2.4	10 2.2	8 1.8	6 1.3	12 2.6	346 76.2
	発達障害	92 100.0%	13 14.1	4 4.3	4 4.3	7 7.6	2 2.2	4 4.3	5 5.4	53 57.6
	高次脳機能障害	90 100.0%	8 8.9	4 4.4	9 10.0	5 5.6	0 0.0	1 1.1	4 4.4	59 65.6
年齢別	18～39歳	311 100.0%	33 10.6	10 3.2	15 4.8	18 5.8	15 4.8	10 3.2	21 6.8	189 60.8
	40～64歳	661 100.0%	70 10.6	25 3.8	19 2.9	10 1.5	10 1.5	11 1.7	15 2.3	501 75.8
	65～74歳	301 100.0%	31 10.3	8 2.7	14 4.7	7 2.3	3 1.0	6 2.0	13 4.3	219 72.8
	75歳以上	258 100.0%	25 9.7	10 3.9	10 3.9	16 6.2	4 1.6	9 3.5	12 4.7	172 66.7

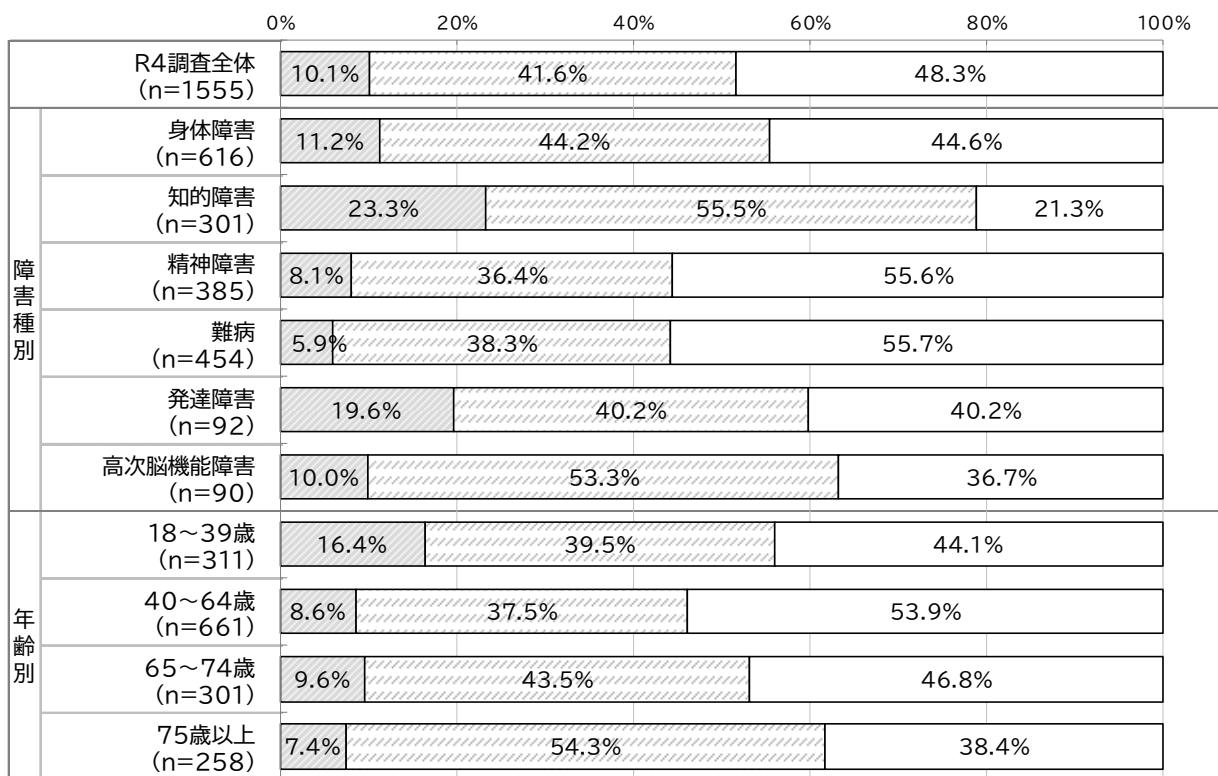
問.「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が施行されました。このことを知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

<障害者調査 問59>

主な介護者が、「障害者差別解消法」の施行を知っているかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「知らなかった」が41.6%、「知っていた」が10.1%となっています。

障害種別ごとにみると、「知っていた」は知的障害で23.3%、発達障害で19.6%と他の障害種別と比較して高くなっています。

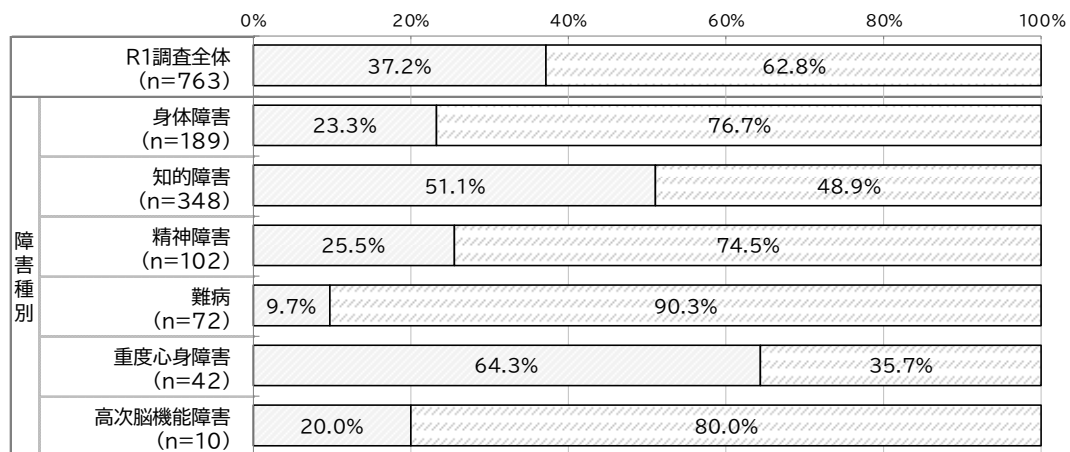
年齢ごとにみると、「知っていた」は18～39歳で16.4%と他の年齢と比較して高くなっています。



■ 知っていた    ▨ 知らなかった    □ 無回答



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



知っていた

知らなかった

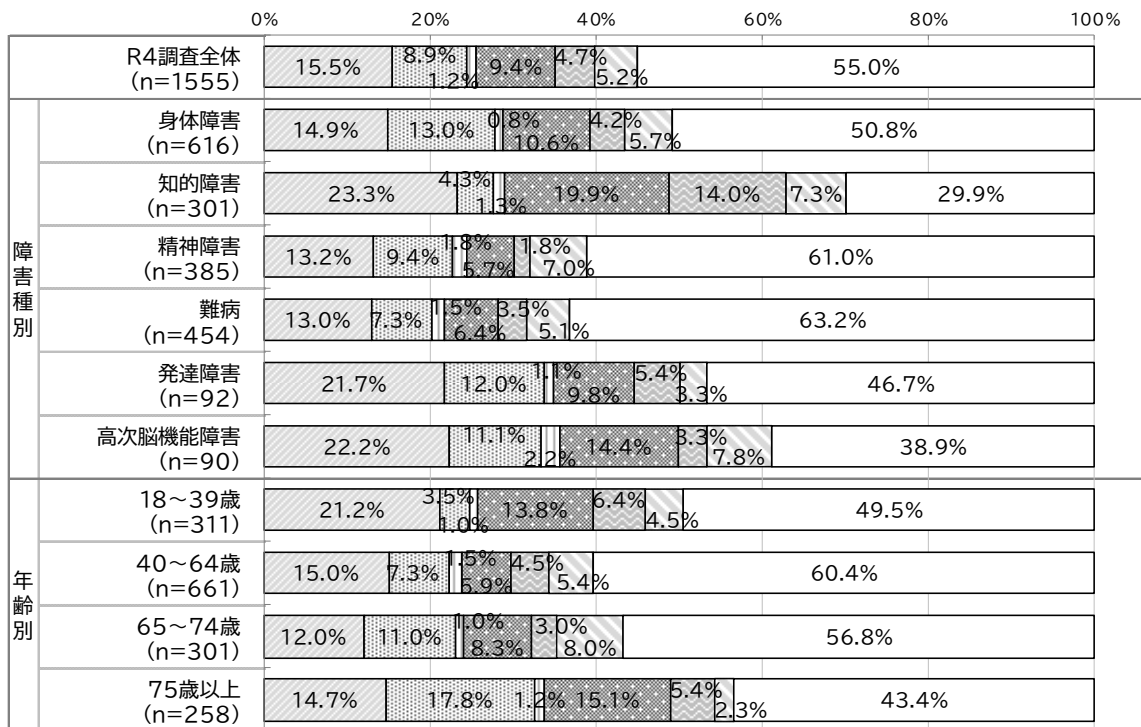
問. あなた(介護者)が、病気やけがで長期間(おおむね3か月程度)介護できなくなった場合、どのような対応を考えていますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<障害者調査 問60>

主な介護者が長期間介護できなくなった場合に考えている対応について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「別の家族・親族に、代わりを頼む」が15.5%と最も高く、次いで「短期入所(ショートステイ)を利用する」が9.4%、「ホームヘルプサービスを利用する」が8.9%となっています。

障害種別ごとにみると、知的障害で「短期入所(ショートステイ)を利用する」が19.9%、「緊急一時保護(リバーハウス東砂など)を利用する」が14.0%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、18歳～39歳で「別の家族・親族に、代わりを頼む」が21.2%と他の年齢と比較して高くなっています。また、75歳以上で「ホームヘルプサービスを利用する」が17.8%と他の年齢と比較して高くなっています。

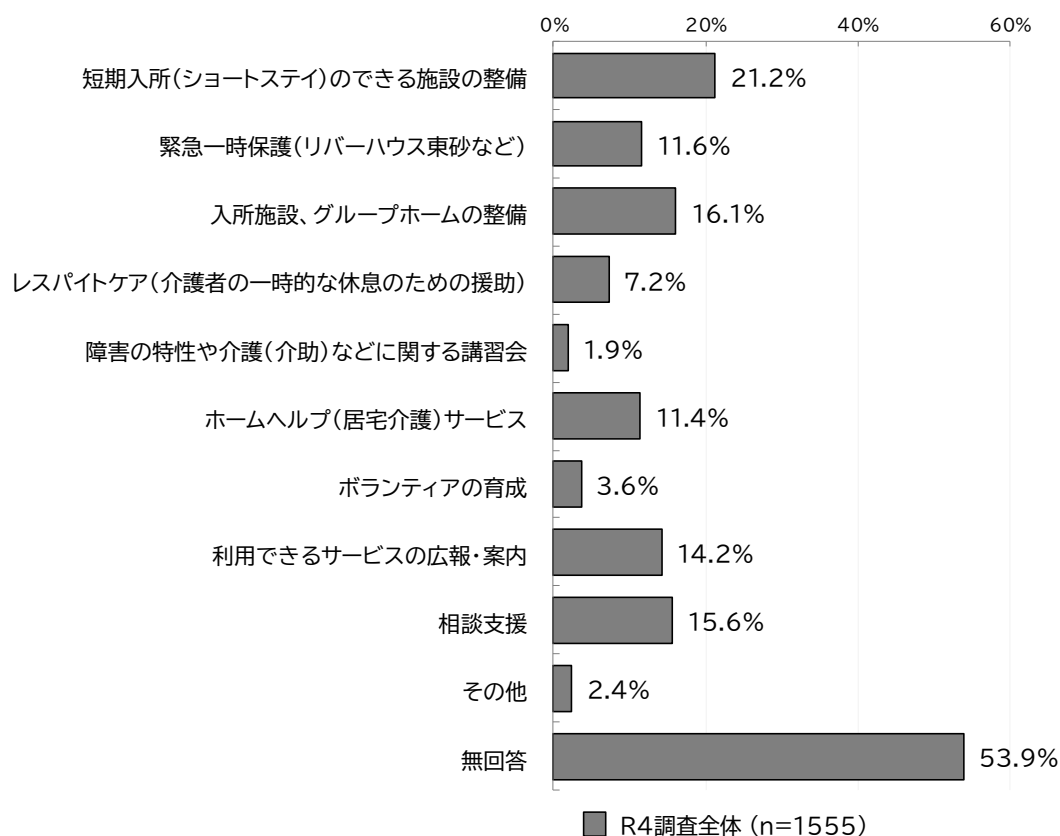


- 別の家族・親族に、代わりを頼む
- ホームヘルプサービスを利用する
- ボランティアを活用する
- 短期入所(ショートステイ)を利用する
- 緊急一時保護(リバーハウス東砂など)を利用する
- その他
- 無回答

問. 家族で介護(介助)する方への支援策として、今後充実してほしいことは何ですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

### <障害者調査 問61>

主な介護者が、今後充実してほしい家族介護の支援策について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「短期入所(ショートステイ)のできる施設の整備」が21.2%と最も高く、次いで「入所施設、グループホームの整備」が16.1%、「相談支援」が15.6%となっています。



障害種別ごとにみると、知的障害で「入所施設、グループホームの整備」が41.9%、「短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備」が39.2%、「緊急一時保護（リバーハウス東砂など）」が26.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、18～39歳で「入所施設、グループホームの整備」が26.0%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問61.家族介護の支援策として今後充実してほしいこと											
		の短期入所施設（ショートステイ）の整備	東砂など）緊急一時保護（リバーハウス	整入所施設、グループホームの	時的な休息のための（介護者の一	どに関する講習会（介助）な	障害の特性や介護（介助）な	サービムヘルプ（居宅介護）	ボランティアの育成	案内利用できるサービスの広報・	相談支援	その他	無回答
障害種別	身体障害	616 100.0%	152 24.7	79 12.8	77 12.5	45 7.3	10 1.6	87 14.1	14 2.3	99 16.1	88 14.3	17 2.8	318 51.6
	知的障害	301 100.0%	118 39.2	79 26.2	126 41.9	40 13.3	8 2.7	30 10.0	19 6.3	54 17.9	55 18.3	9 3.0	82 27.2
	精神障害	385 100.0%	51 13.2	25 6.5	38 9.9	23 6.0	11 2.9	45 11.7	19 4.9	43 11.2	77 20.0	12 3.1	226 58.7
	難病	454 100.0%	78 17.2	43 9.5	40 8.8	26 5.7	9 2.0	40 8.8	12 2.6	59 13.0	57 12.6	11 2.4	285 62.8
	発達障害	92 100.0%	20 21.7	12 13.0	30 32.6	7 7.6	5 5.4	10 10.9	6 6.5	14 15.2	19 20.7	1 1.1	41 44.6
	高次脳機能障害	90 100.0%	29 32.2	10 11.1	19 21.1	11 12.2	1 1.1	9 10.0	1 1.1	14 15.6	19 21.1	3 3.3	37 41.1
	年齢別	18～39歳	311 100.0%	77 24.8	50 16.1	81 26.0	32 10.3	7 2.3	22 7.1	22 7.1	41 13.2	46 14.8	5 1.6
40～64歳		661 100.0%	102 15.4	62 9.4	89 13.5	31 4.7	15 2.3	66 10.0	23 3.5	88 13.3	104 15.7	20 3.0	387 58.5
65～74歳		301 100.0%	67 22.3	27 9.0	39 13.0	28 9.3	4 1.3	45 15.0	6 2.0	41 13.6	46 15.3	11 3.7	159 52.8
75歳以上		258 100.0%	81 31.4	40 15.5	40 15.5	20 7.8	4 1.6	43 16.7	5 1.9	51 19.8	46 17.8	2 0.8	116 45.0

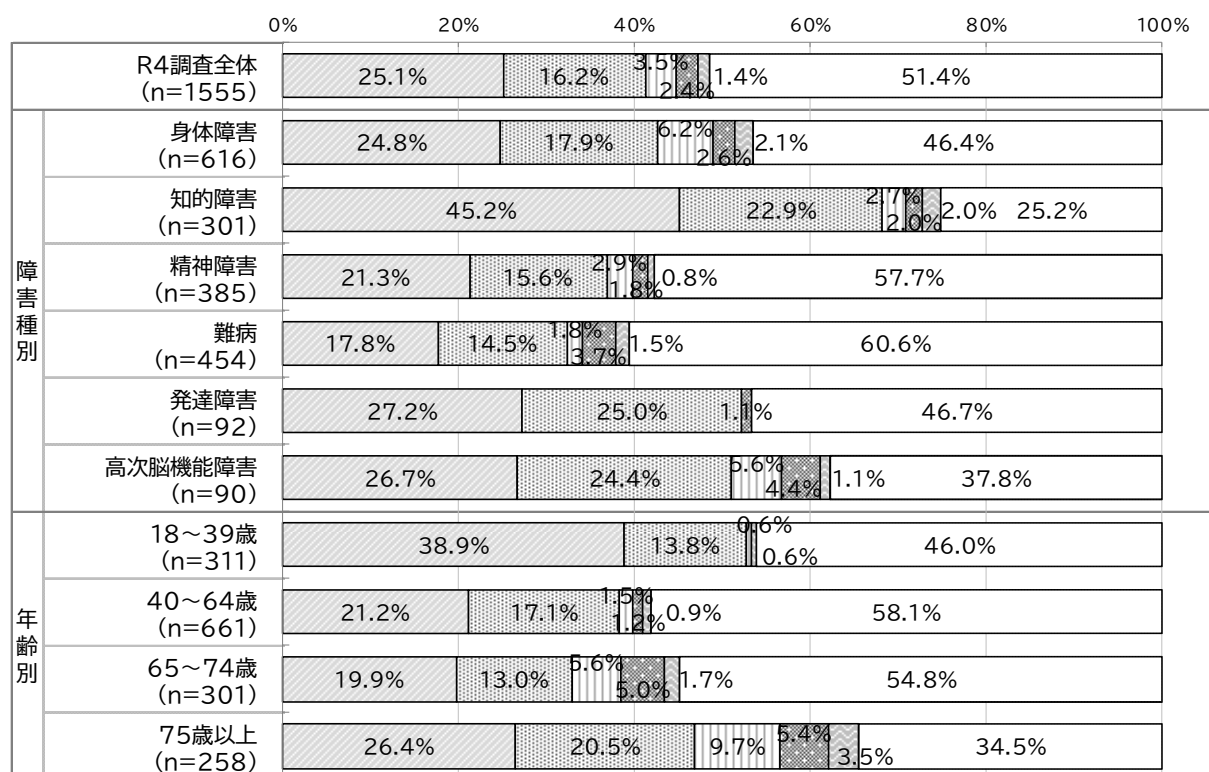
問. 主な介護者の方は要介護認定を受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問62>

主な介護者の方の要介護認定について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「健康であり、要介護認定は受けていない」が25.1%と最も高く、次いで「何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない」が16.2%となっています。

障害種別ごとにみると、知的障害で「健康であり、要介護認定は受けていない」が45.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

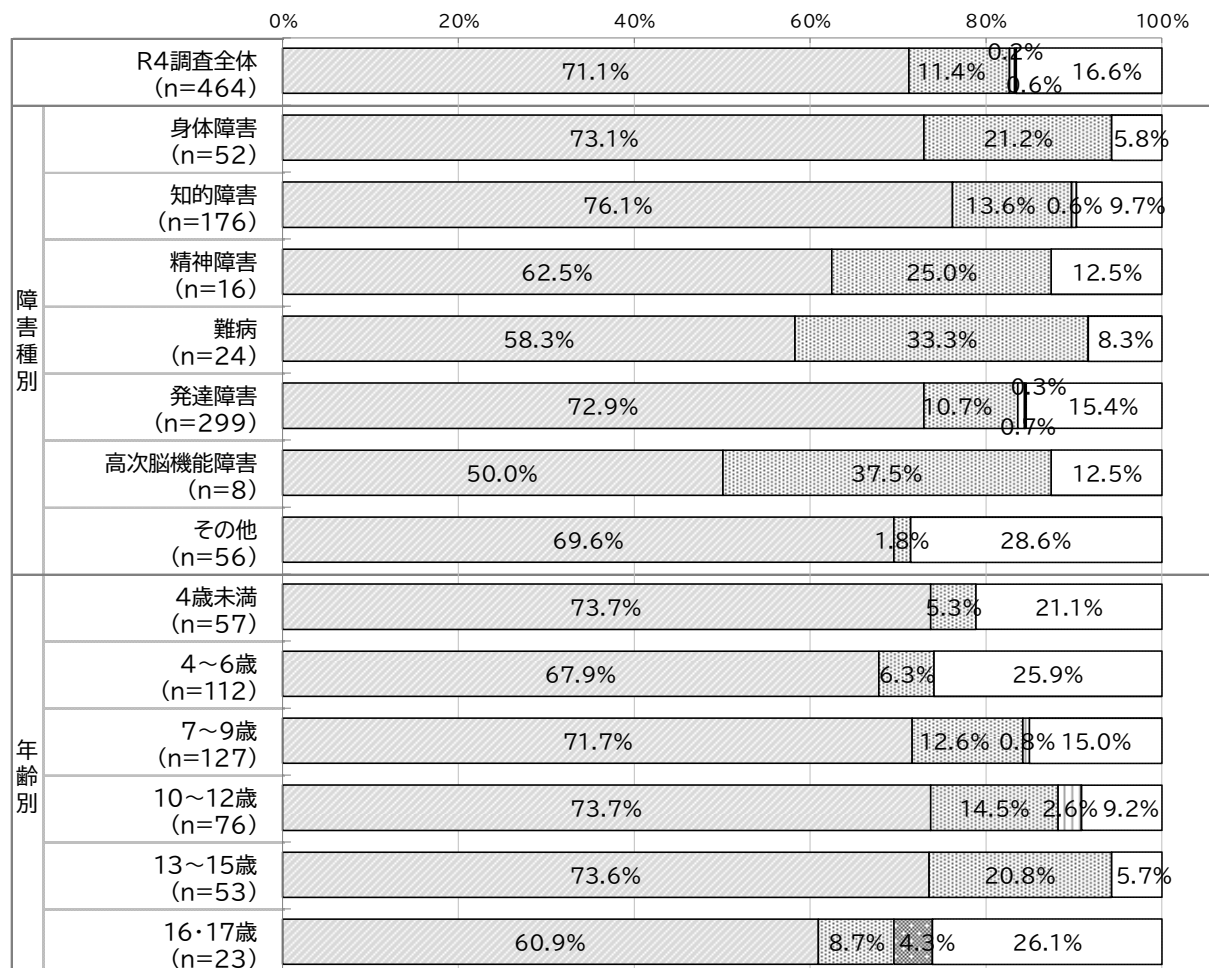
年齢ごとにみると、18～39歳で「健康であり、要介護認定は受けていない」が38.9%と他の年齢と比較して高くなっています。



- 健康であり、要介護認定は受けていない
- 何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない
- 要支援1・2
- 要介護1・2
- 要介護3～5
- 無回答

## <障害児調査 問52>

主な介護者の方の要介護認定について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「健康であり、要介護認定は受けていない」が71.1%と最も高く、次いで「何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない」が11.4%となっています。



- 健康であり、要介護認定は受けていない
- 何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない
- 要支援1・2
- 要介護1・2
- 要介護3～5
- 無回答

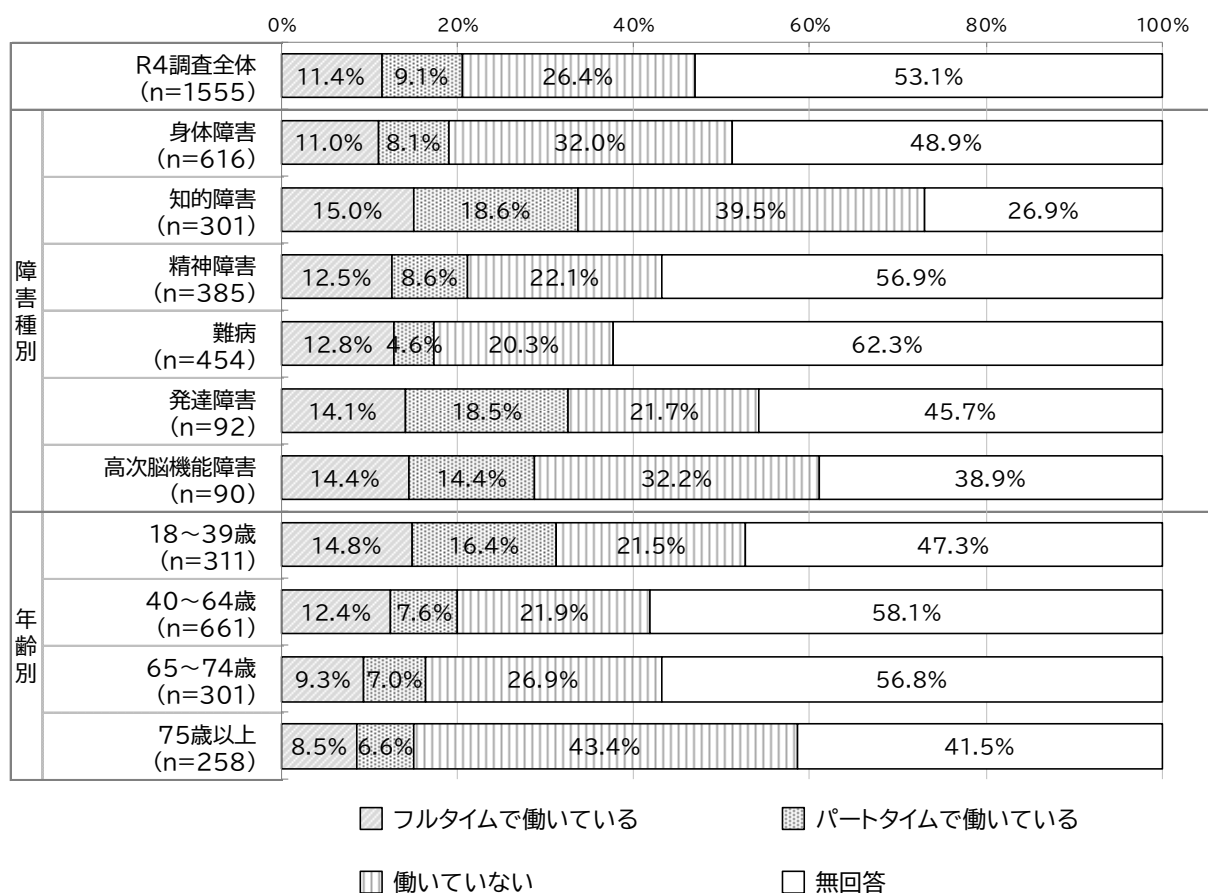
問. 主な介護者の方の現在の勤務形態は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問63>

主な介護者の現在の勤務形態について、令和4年調査全体では「働いていない」が26.4%、「フルタイムで働いている」が11.4%、「パートタイムで働いている」が9.1%となっています。

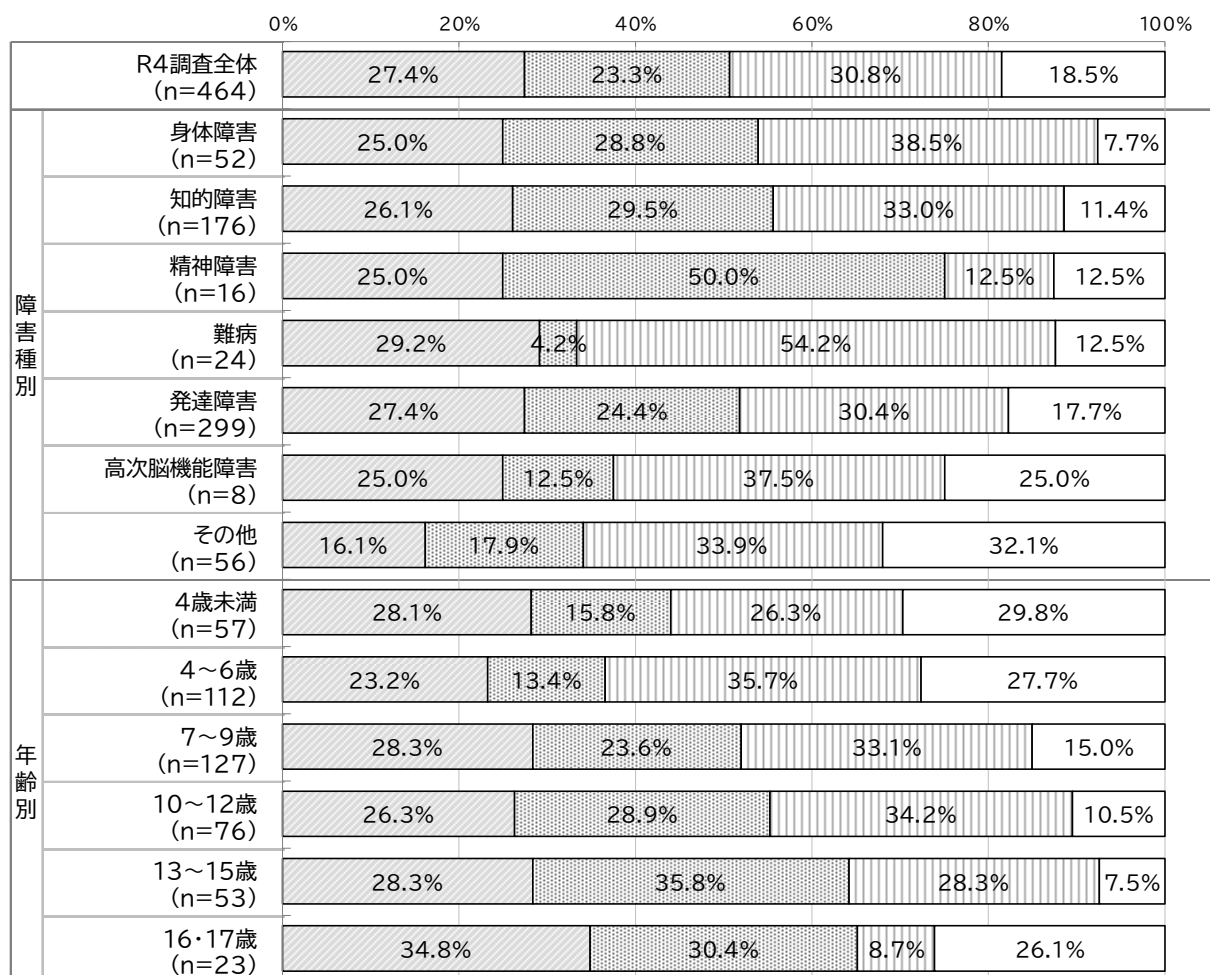
障害種別ごとにみると、知的障害で「働いていない」が39.5%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、75歳以上で「働いていない」が43.4%と他の年齢と比較して高くなっています。また、18～39歳で「パートタイムで働いている」が16.4%と他の年齢と比較して高くなっています。



### <障害児調査 問53>

主な介護者の現在の勤務形態について、令和4年調査全体では「働いていない」が30.8%、「フルタイムで働いている」が27.4%、「パートタイムで働いている」が23.3%となっています。



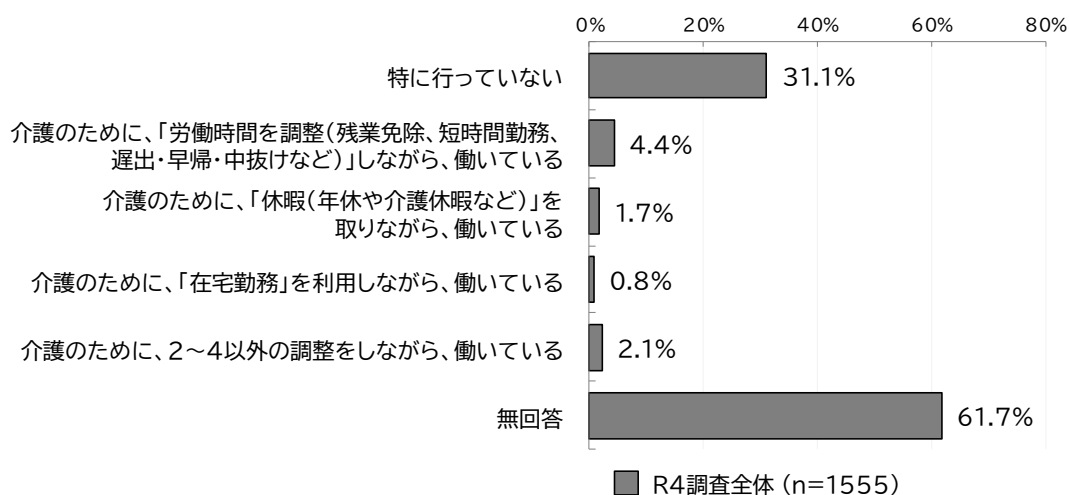
- フルタイムで働いている
- パートタイムで働いている
- 働いていない
- 無回答



問. 主な介護者の方は、介護にあたって、働き方についての調整などを行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

### <障害者調査 問64>

主な介護者が、介護にあたって働き方の調整などを行っているかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「特に行っていない」が31.1%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど)」しながら、働いている」が4.4%、「介護のために、その他の調整をしながら、働いている」が2.1%となっています。



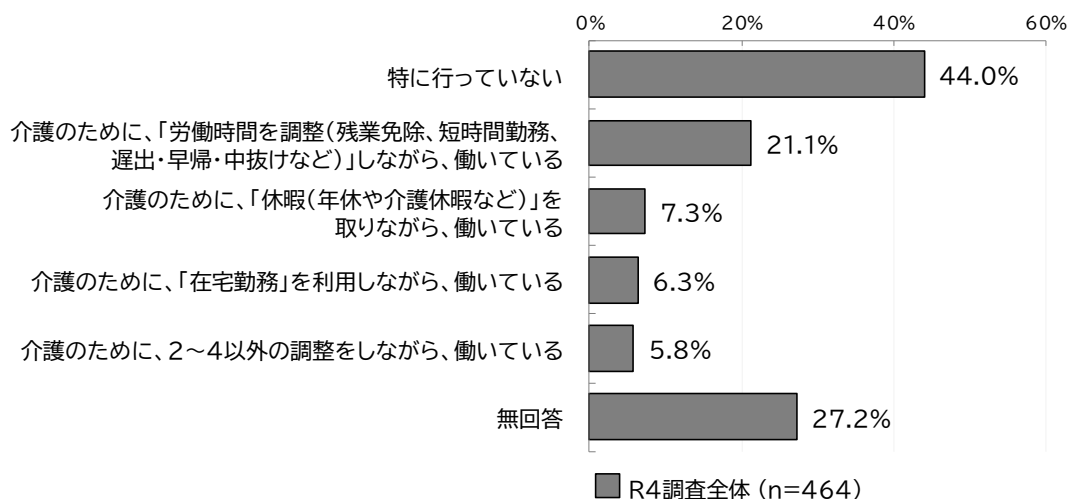
障害種別ごとにみると、知的障害で「特に行っていない」が45.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、18～39歳で「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど)」しながら、働いている」が9.0%と他の年齢と比較してやや高めになっています。

1段目 人 2段目 %		合計	問64.介護のための働き方調整の有無					無回答
			特に行っていない	早帰・中抜けなど 「労働時間を調整」しながら、働いている	「休暇(年休や介護休暇など)」を取りながら、働いている	「在宅勤務」を利用しながら、働いている	その他の調整をしながら、働いている	
障害種別	身体障害	616 100.0%	196 31.8	27 4.4	14 2.3	7 1.1	14 2.3	372 60.4
	知的障害	301 100.0%	136 45.2	30 10.0	10 3.3	5 1.7	9 3.0	122 40.5
	精神障害	385 100.0%	119 30.9	11 2.9	4 1.0	4 1.0	13 3.4	241 62.6
	難病	454 100.0%	118 26.0	14 3.1	7 1.5	3 0.7	5 1.1	313 68.9
	発達障害	92 100.0%	28 30.4	8 8.7	3 3.3	0 0.0	6 6.5	48 52.2
	高次脳機能障害	90 100.0%	30 33.3	7 7.8	2 2.2	4 4.4	5 5.6	47 52.2
年齢別	18～39歳	311 100.0%	99 31.8	28 9.0	8 2.6	5 1.6	12 3.9	167 53.7
	40～64歳	661 100.0%	202 30.6	17 2.6	9 1.4	7 1.1	9 1.4	426 64.4
	65～74歳	301 100.0%	89 29.6	15 5.0	5 1.7	1 0.3	8 2.7	193 64.1
	75歳以上	258 100.0%	90 34.9	7 2.7	4 1.6	0 0.0	3 1.2	155 60.1

### <障害児調査 問54>

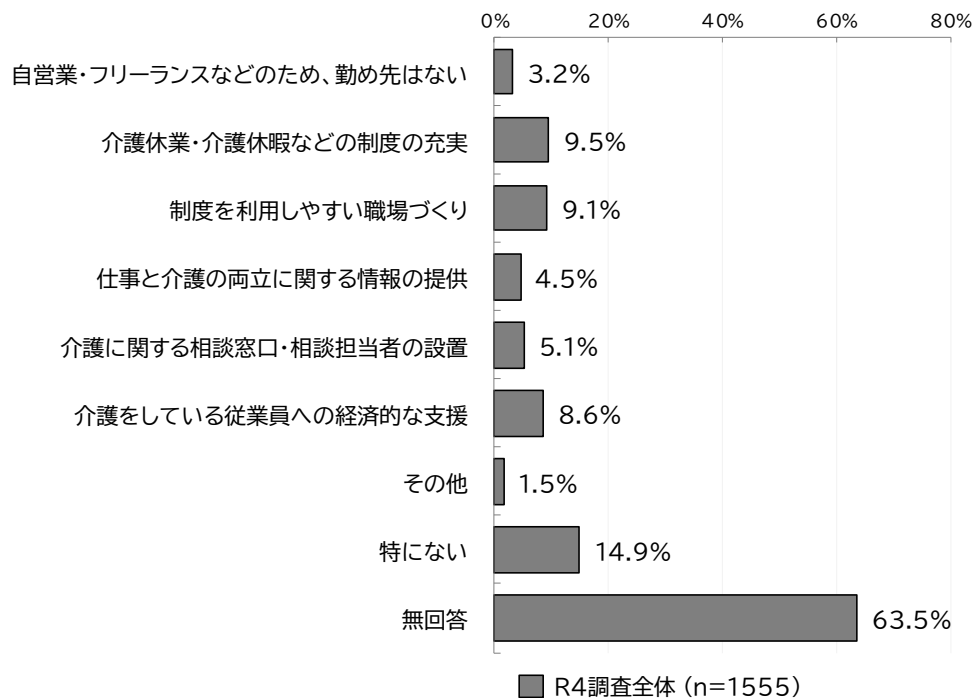
主な介護者が、介護にあたって働き方の調整などを行っているかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「特に行っていない」が44.0%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜けなど)」しながら、働いている」が21.1%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇など)」を取りながら、働いている」が7.3%となっています。



問. 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

### <障害者調査 問65>

主な介護者が、仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先の支援について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「特にない」が14.9%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が9.5%、「制度を利用しやすい職場づくり」が9.1%となっています。



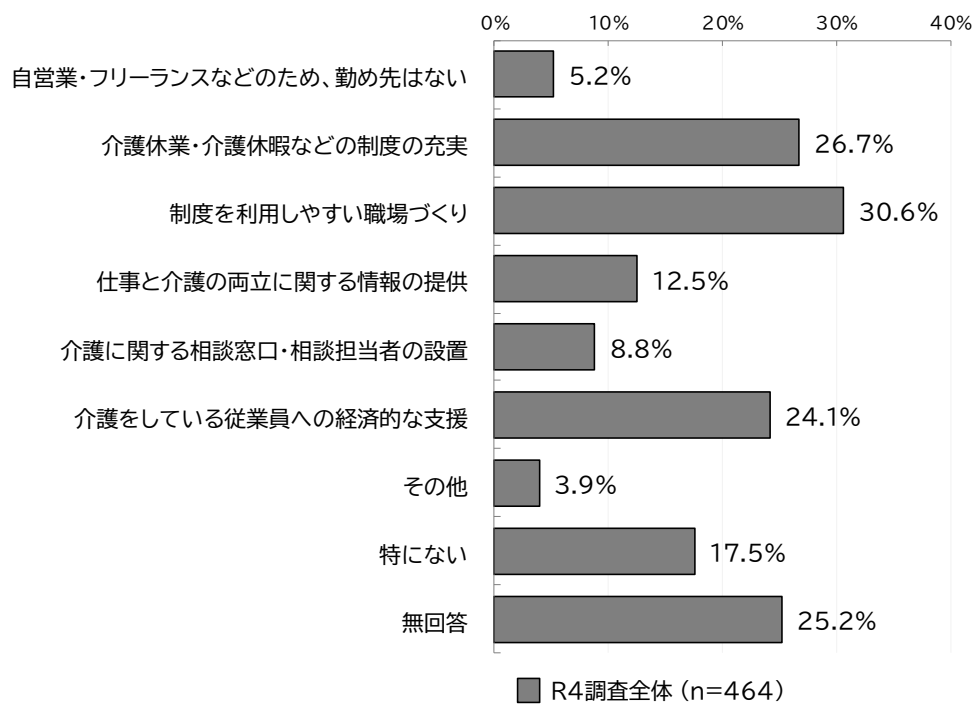
障害種別ごとに見ると、知的障害で「特になし」が25.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、発達障害で「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」が14.1%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとに見ると、18～39歳で「制度を利用しやすい職場づくり」が15.1%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %		合計	問65.仕事と介護の両立に効果がある勤め先の支援								
			の自 ため 業・ 勤め 先は ない	介 護の 充実 ・ 介 護休 暇な どの	制 度 を 利 用 し や す い 職 場 づ り	情 報 と 介 護 の 両 立 に 関 する	介 護 に 関 する 相 談 窓 口 ・ 相	経 済 的 な 支 援	介 護 を し て い る 従 業 員 へ の	そ の 他	特 に な い
障害種別	身体障害	616 100.0%	19 3.1	58 9.4	51 8.3	29 4.7	23 3.7	47 7.6	13 2.1	97 15.7	388 63.0
	知的障害	301 100.0%	10 3.3	45 15.0	44 14.6	11 3.7	24 8.0	37 12.3	5 1.7	76 25.2	130 43.2
	精神障害	385 100.0%	21 5.5	35 9.1	37 9.6	23 6.0	29 7.5	42 10.9	5 1.3	48 12.5	247 64.2
	難病	454 100.0%	11 2.4	34 7.5	34 7.5	18 4.0	19 4.2	32 7.0	5 1.1	54 11.9	317 69.8
	発達障害	92 100.0%	1 1.1	14 15.2	16 17.4	9 9.8	13 14.1	14 15.2	0 0.0	16 17.4	48 52.2
	高次脳機能障害	90 100.0%	3 3.3	10 11.1	10 11.1	3 3.3	5 5.6	10 11.1	5 5.6	17 18.9	46 51.1
	年齢別	18～39歳	311 100.0%	11 3.5	44 14.1	47 15.1	19 6.1	21 6.8	40 12.9	2 0.6	41 13.2
40～64歳		661 100.0%	19 2.9	55 8.3	55 8.3	28 4.2	32 4.8	51 7.7	8 1.2	92 13.9	437 66.1
65～74歳		301 100.0%	11 3.7	24 8.0	21 7.0	11 3.7	17 5.6	24 8.0	9 3.0	50 16.6	194 64.5
75歳以上		258 100.0%	7 2.7	24 9.3	19 7.4	12 4.7	9 3.5	19 7.4	4 1.6	45 17.4	162 62.8

### <障害児調査 問55>

主な介護者が、仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先の支援について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「制度を利用しやすい職場づくり」が30.6%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が26.7%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が24.1%となっています。



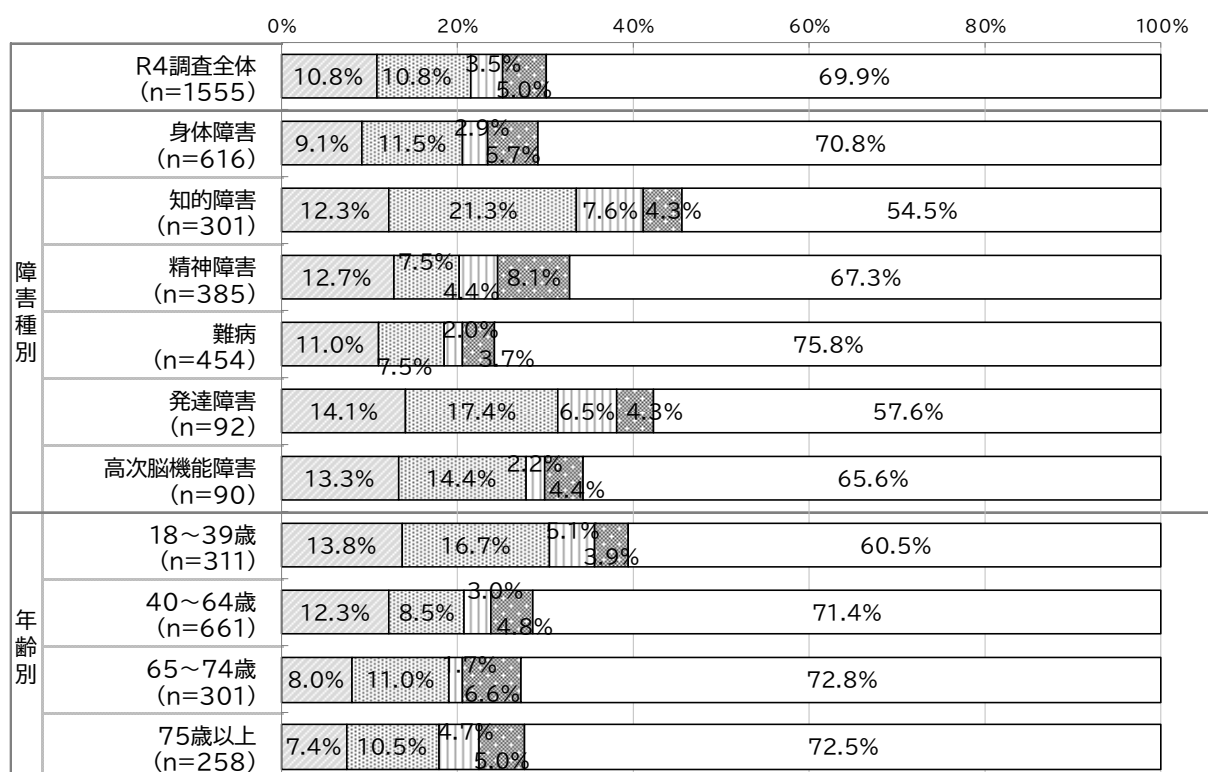
問. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。あてはまるもの12に○をつけてください。

<障害者調査 問66>

主な介護者が、今後も働きながら介護を続けていけそうかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」が同率で10.8%と最も高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が5.0%となっています。

障害種別ごとにみると、知的障害で「問題はあるが、何とか続けていける」が21.3%と他の障害種別と比較してやや高めになっています。

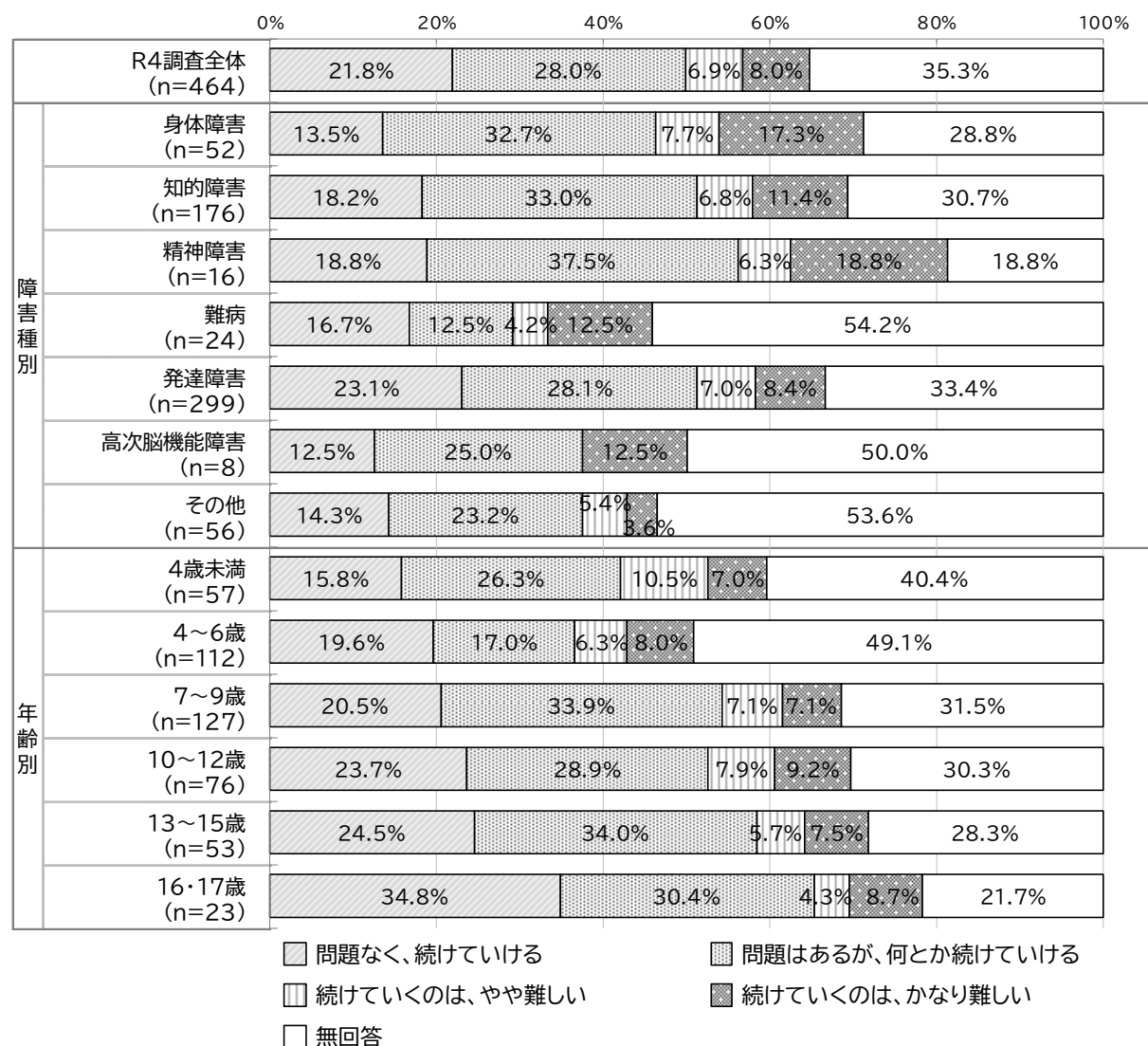
年齢ごとにみると、18～39歳で「問題はあるが、何とか続けていける」が16.7%と他の年齢と比較して高くなっています。



- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 無回答

## <障害児調査 問56>

主な介護者が、今後も働きながら介護を続けていけそうかについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「問題はあるが、何とか続けていける」が28.0%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が21.8%、「続けていくのは、かなり難しい」が8.0%となっています。

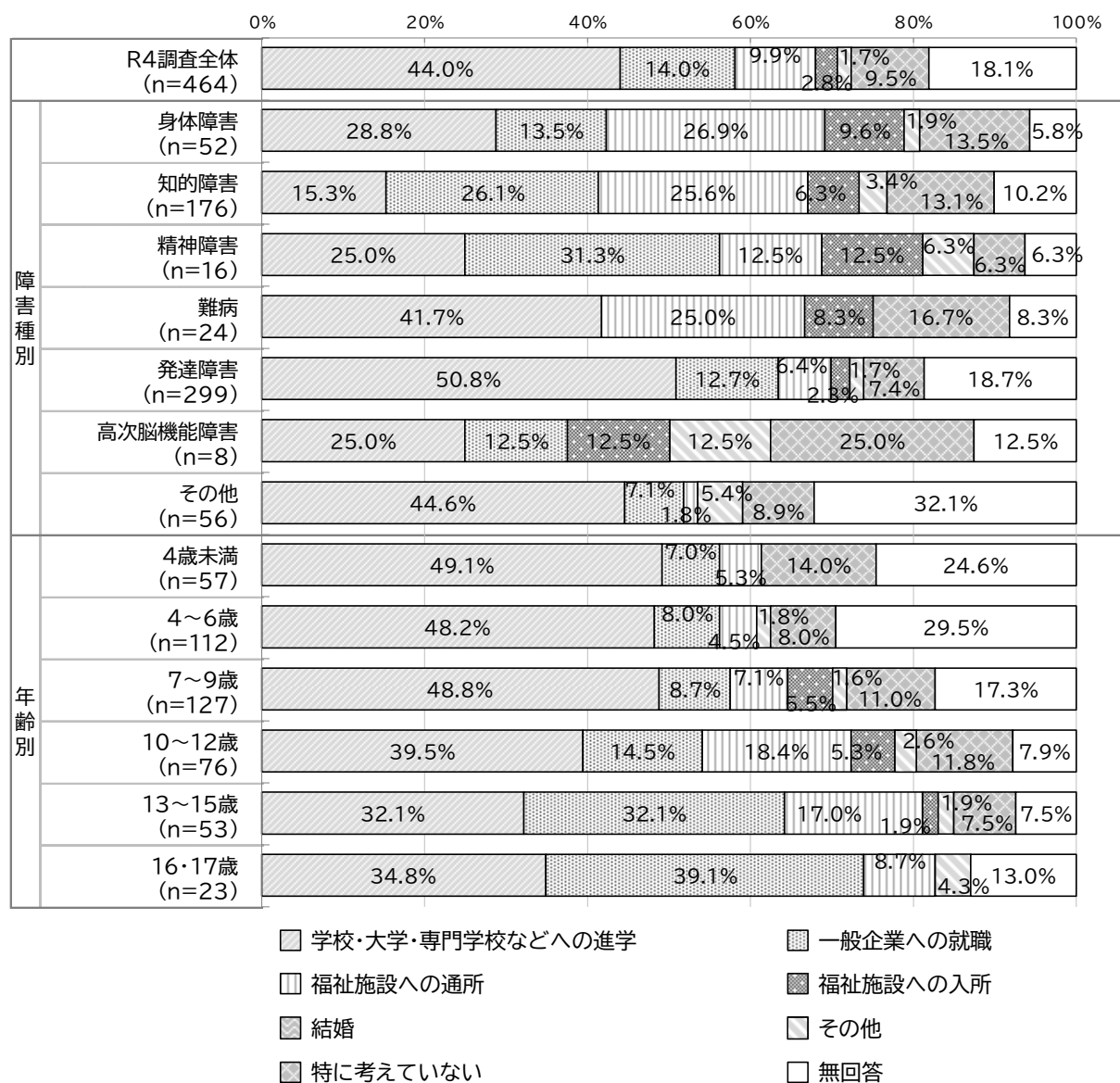




問. お子様が18歳になった時の希望について、あてはまるものはどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。本人の気持ちになってお書きください。

<障害児調査 問57>

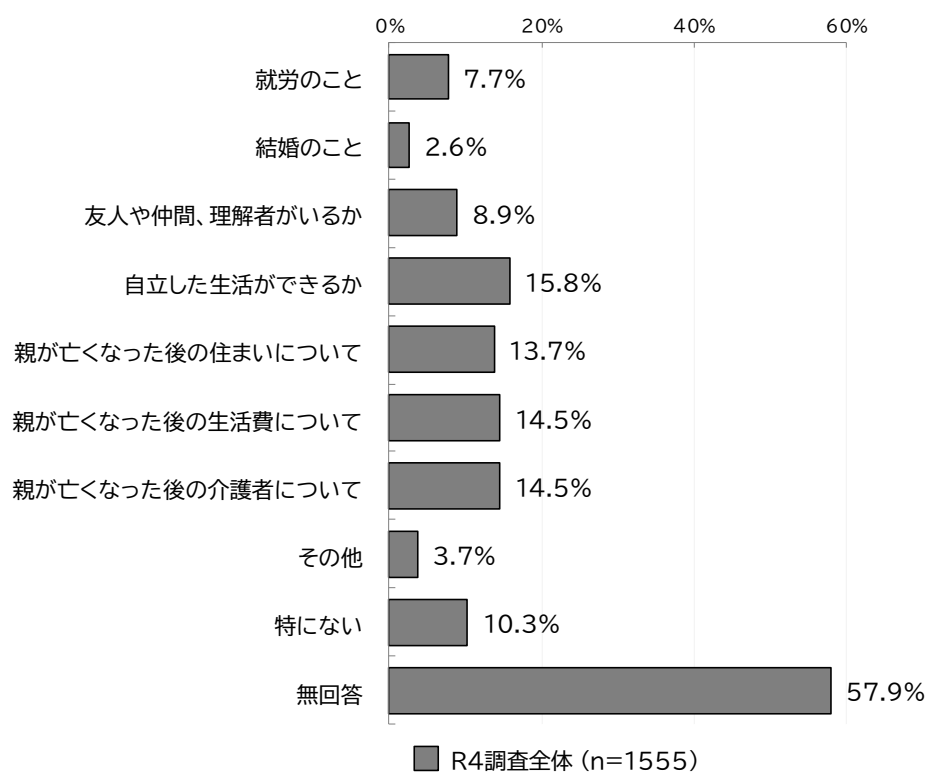
主な介護者が、本人の気持ちになって思う18歳になった時の希望について「無回答」以外で、令和4年調査全体では「学校・大学・専門学校などへの進学」が44.0%と最も高く、次いで「一般企業への就職」が14.0%、「福祉施設への通所」が9.9%となっています。



問. あなた(介護者)が介護している人の将来のことで不安に思うことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

### <障害者調査 問67>

主な介護者が、介護している人の将来のことで不安に思うことについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「自立した生活ができるか」が15.8%と最も高く、次いで「親が亡くなった後の生活費について」「親が亡くなった後の介護者について」が同率で14.5%、「親が亡くなった後の住まいについて」が13.7%となっています。



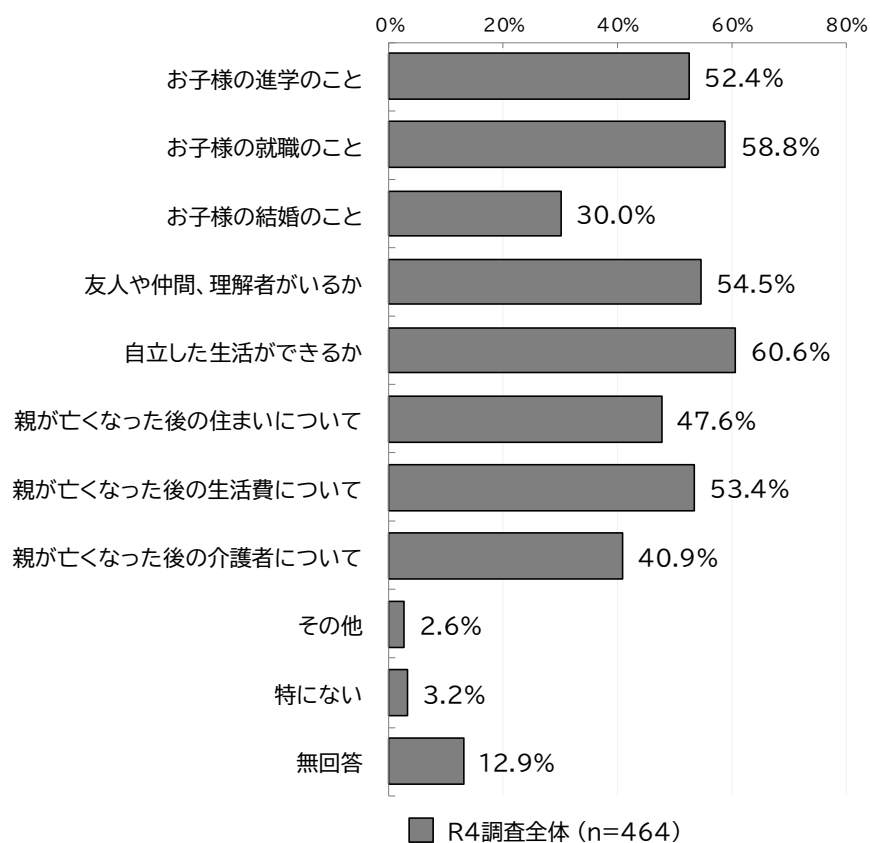
障害種別ごとにみると、知的障害で「親が亡くなった後の介護者について」が49.5%、「親が亡くなった後の住まいについて」が44.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、発達障害で「友人や仲間、理解者がいるか」が23.9%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、「特にない」は高齢なほど高く、75歳以上が22.1%、18～39歳は1.9%となっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問67.介護している人の将来について不安に思うこと										
		就 労 の こ と	結 婚 の こ と	い 友 人 や 仲 間 、 理 解 者 が	か 自 立 し た 生 活 が で き る	ま 親 い が 亡 つ つ く な つ た 後 の 住	活 親 費 が 亡 つ つ く な つ た 後 の 生	護 親 者 が 亡 つ つ く な つ た 後 の 介	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
障害種別	身体障害	616 100.0%	26 4.2	12 1.9	44 7.1	65 10.6	56 9.1	58 9.4	69 11.2	33 5.4	87 14.1	353 57.3
	知的障害	301 100.0%	37 12.3	16 5.3	50 16.6	86 28.6	133 44.2	130 43.2	149 49.5	11 3.7	16 5.3	85 28.2
	精神障害	385 100.0%	47 12.2	14 3.6	45 11.7	77 20.0	45 11.7	52 13.5	46 11.9	18 4.7	24 6.2	232 60.3
	難病	454 100.0%	18 4.0	3 0.7	15 3.3	47 10.4	27 5.9	35 7.7	32 7.0	10 2.2	57 12.6	301 66.3
	発達障害	92 100.0%	20 21.7	7 7.6	22 23.9	25 27.2	31 33.7	35 38.0	31 33.7	2 2.2	3 3.3	43 46.7
	高次脳機能障害	90 100.0%	11 12.2	4 4.4	7 7.8	18 20.0	15 16.7	13 14.4	14 15.6	7 7.8	10 11.1	40 44.4
年齢別	18～39歳	311 100.0%	51 16.4	26 8.4	59 19.0	81 26.0	115 37.0	105 33.8	115 37.0	8 2.6	6 1.9	151 48.6
	40～64歳	661 100.0%	48 7.3	11 1.7	44 6.7	90 13.6	75 11.3	94 14.2	91 13.8	19 2.9	55 8.3	401 60.7
	65～74歳	301 100.0%	9 3.0	0 0.0	16 5.3	44 14.6	9 3.0	14 4.7	11 3.7	17 5.6	38 12.6	189 62.8
	75歳以上	258 100.0%	10 3.9	4 1.6	18 7.0	30 11.6	12 4.7	10 3.9	8 3.1	13 5.0	57 22.1	142 55.0

### <障害児調査 問58>

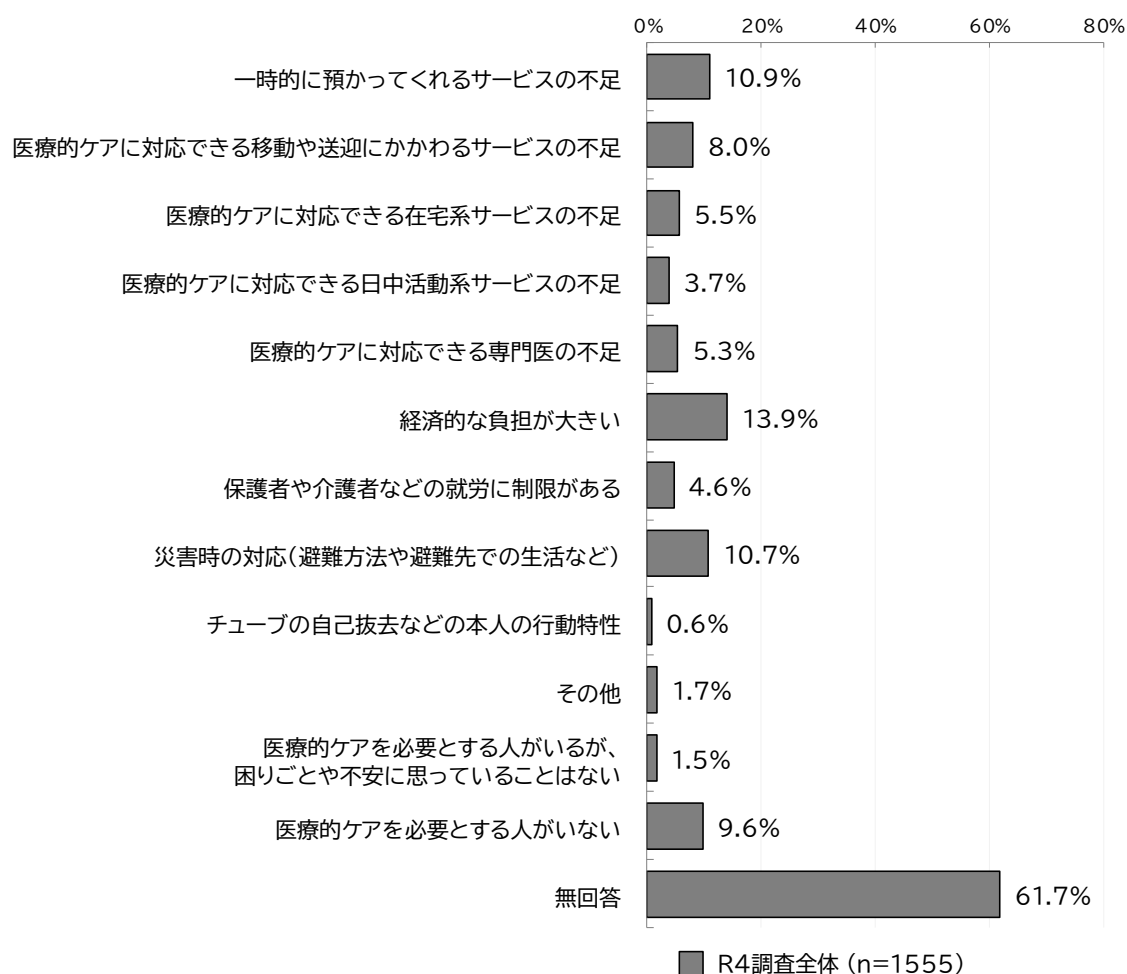
主な介護者が、子どもの将来のことで不安に思うことについて、令和4年調査全体では「自立した生活ができるか」が60.6%と最も高く、次いで「お子様の就職のこと」が58.8%、「友人や仲間、理解者がいるか」が54.5%となっています。



問. あなた(介護者)が、医療的ケアを必要とする人の介護について、困りごとや不安に思っていることは何ですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

### <障害者調査 問68>

主な介護者が、医療的ケアを必要とする人の介護において困りごとや不安に思っていることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「経済的な負担が大きい」が13.9%と最も高く、次いで「一時的に預かってくれるサービスの不足」が10.9%、「災害時の対応(避難方法や避難先での生活など)」が10.7%となっています。



障害種別ごとにとみると、知的障害で「一時的に預かってくれるサービスの不足」が20.9%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、「医療的ケアを必要とする人がいない」が知的障害で22.3%、発達障害で19.6%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにとみると、18～39歳で「医療的ケアを必要とする人がいない」が18.0%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %		問68.医療ケアを必要とする人の介護について困りごとや不安に思うこと													
		合計	一時的に預かってくれるサービスの不足	医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足	医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足	医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足	医療的ケアに対応できる専門医の不足	経済的な負担が大きい	保護者や介護者などの就労に制限がある	災害時の対応（避難方法や避難先での生活など）	性	チューブの自己抜去などの本人の行動特性	その他	医療的ケアを必要とする人がいるが、困りごとや不安に思っていることはない	医療的ケアを必要とする人がいない
障害種別	身体障害	616 100.0%	76 12.3	68 11.0	43 7.0	26 4.2	38 6.2	94 15.3	32 5.2	87 14.1	6 1.0	15 2.4	15 2.4	40 6.5	364 59.1
	知的障害	301 100.0%	63 20.9	36 12.0	20 6.6	18 6.0	21 7.0	43 14.3	17 5.6	54 17.9	4 1.3	6 2.0	1 0.3	67 22.3	113 37.5
	精神障害	385 100.0%	37 9.6	29 7.5	22 5.7	18 4.7	28 7.3	72 18.7	17 4.4	38 9.9	3 0.8	7 1.8	2 0.5	29 7.5	248 64.4
	難病	454 100.0%	36 7.9	31 6.8	18 4.0	17 3.7	25 5.5	54 11.9	22 4.8	42 9.3	4 0.9	7 1.5	10 2.2	25 5.5	316 69.6
	発達障害	92 100.0%	7 7.6	4 4.3	7 7.6	4 4.3	5 5.4	14 15.2	7 7.6	5 5.4	0 0.0	1 1.1	0 0.0	18 19.6	51 55.4
	高次脳機能障害	90 100.0%	12 13.3	8 8.9	6 6.7	3 3.3	5 5.6	20 22.2	6 6.7	13 14.4	2 2.2	2 2.2	1 1.1	7 7.8	47 52.2
年齢別	18～39歳	311 100.0%	36 11.6	24 7.7	13 4.2	19 6.1	17 5.5	30 9.6	22 7.1	31 10.0	4 1.3	1 0.3	3 1.0	56 18.0	177 56.9
	40～64歳	661 100.0%	58 8.8	42 6.4	35 5.3	15 2.3	33 5.0	95 14.4	26 3.9	62 9.4	2 0.3	12 1.8	6 0.9	59 8.9	430 65.1
	65～74歳	301 100.0%	42 14.0	29 9.6	18 6.0	15 5.0	18 6.0	50 16.6	14 4.7	37 12.3	2 0.7	8 2.7	5 1.7	14 4.7	187 62.1
	75歳以上	258 100.0%	34 13.2	29 11.2	19 7.4	8 3.1	14 5.4	41 15.9	9 3.5	36 14.0	2 0.8	6 2.3	9 3.5	18 7.0	145 56.2

## <障害児調査 問59>

主な介護者が、医療的ケアを必要とする子どもの介護において困りごとや不安に思っていることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「医療的ケアを必要とする子どもがいない」が49.8%と最も高く、次いで「一時的に預かってくれるサービスの不足」が12.1%、「経済的な負担が大きい」が9.9%、「保護者や介護者などの就労に制限がある」が9.1%となっています。

